地域活性化雇用創造プロジェクト

「ママの『働く』を共に考え、応援する　ママハタみえ」

ママハタみえ

ママの「働く」を共に考え・応援する相談窓口

アンケートレポート

2019 年 3 月

公益財団法人　三重県産業支援センター

■目　次

はじめに ……1

事業概要 ……2

調査結果

＜ママアンケート編＞

Ⅰ．基本属性 ……3

Ⅱ．就労状況 ……5

Ⅲ．希望する就労条件 ……15

Ⅳ．転職したい、または将来働きたい人へ質問 ……28

Ⅴ．ママハタみえへの要望 ……38

Ⅵ．まとめ ……45

＜応援企業アンケート編＞ ……47

（添付資料）配布アンケート

■はじめに

本事業は厚生労働省の地域活性化雇用創造プロジェクト事業の補助を受けて、公益財団法人三重県産業支援センターが行いました。

三重県の女性は結婚・出産を機に退職し、育児が落ち着いてから再就職したいという「再就職型」の割合が全国に比べても高く、家庭を優先したいという意識が強い傾向があります。（＊）

このアンケート調査は、そうした結婚・出産により退職したけど働きたい、または働いているけど転職したいという女性がどれくらいいるのか、どのような働き方を理想としているのか、障害となっていることは何なのか、必要とされる支援は？といった企業にはなかなか言えない女性の本音を明らかにするために行いました。

あわせて三重県で女性を積極的に採用し、家庭との両立を応援する企業に女性従業員の就労状況についても聞き取りを行い、子育て中でも働きやすい会社の実態を明らかにする調査も実施しました。

少子高齢化によって働き手が減少する中、三重県内の企業が優秀な人材を確保し、持続的に成長するためにもこうした女性を活用することが重要となっています。また女性にとっても子育てしながら社会に参加し、能力を発揮する場所が提供されることは生きる喜びとなるでしょう。

この調査結果が、働きたい女性と、女性を活用したい企業を結びつけ、より働きやすい社会の整備につながるよう願っています。

今回のアンケート調査にあたり多くの女性と企業にご協力を得て、たくさんの貴重なご意見を聞くことができました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

（＊）「三重・男女共同参画に関する県民意識調査」より

■事業概要

１．事業名

三重県地域活性化雇用創造プロジェクト
「女性の就職サポート支援事業　ママの『働く』を共に考え、応援する　ママハタみえ」

２．実施スケジュール

2018 年度	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
LINE@登録＆メール相談	→	→	→	→	→	→
ママハタ相談窓口	→	→	→	→	→	→
ママハタトークイベント			→			
ママアンケート配布・回収		→	→	→	→	→
応援企業取材＆アンケート				→	→	
ママハタ応援企業プレゼン						→
応援企業職場見学						→

３．調査にご協力いただいた方

＜ママアンケート編＞
ママハタみえに参加された 20～60 代の女性（計 381 名）
＜企業アンケート編＞
ママハタ応援企業として参加していただいた計 21 社（北勢地域、中勢地域、南勢地域各 7 社）

４．アンケート配布・回収の方法

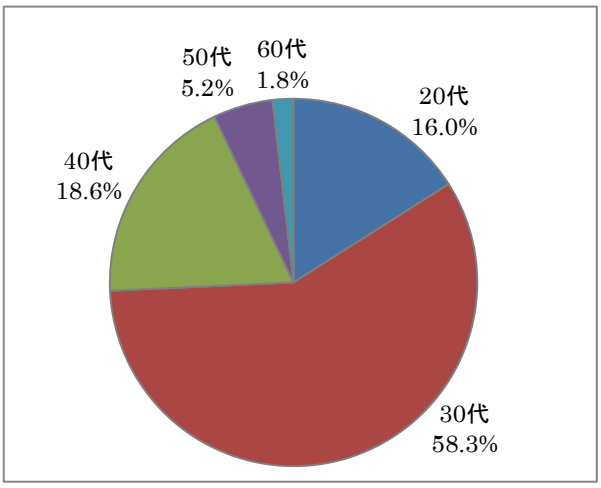
＜ママアンケート編＞
・ママハタ相談窓口、ママハタトークイベント参加者へ直接、聞き取りアンケート。
・LINE@登録者へアンケートをネット配信および回収。
＜企業アンケート編＞
・ママハタ応援企業へ直接取材によるヒアリング調査

調　査　結　果

ママアンケート編

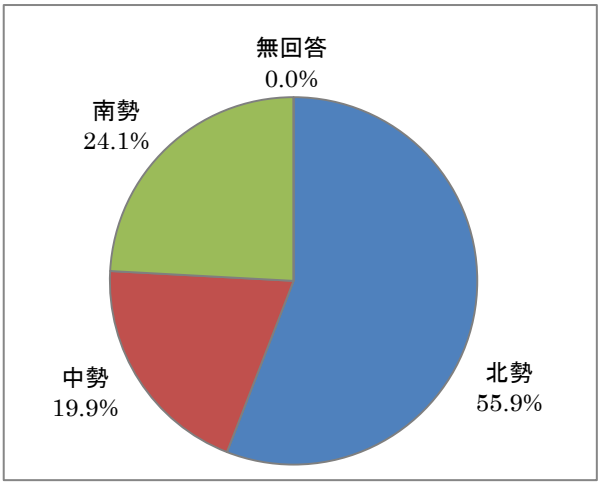
Ⅰ．基本属性

１．あなたの年代を教えてください。（n＝381）



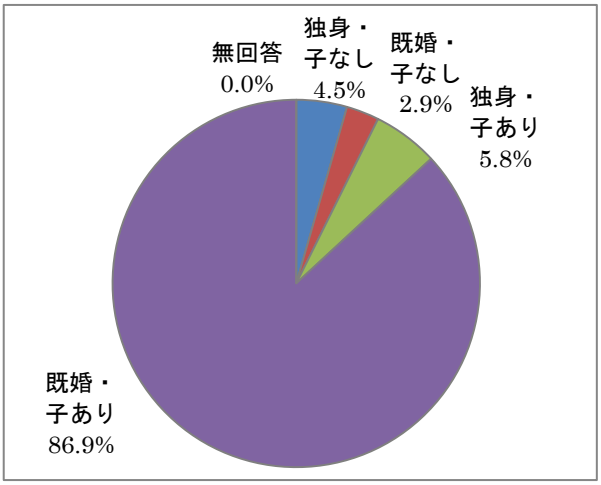
・アンケート回答者の年代で最も多かったのは 30 代（58.3%）で、6 割弱を占めた。そのつぎに 40 代（18.6%）、20 代（16%）の順に多かった。

２．居住地域を教えてください。（n＝381）



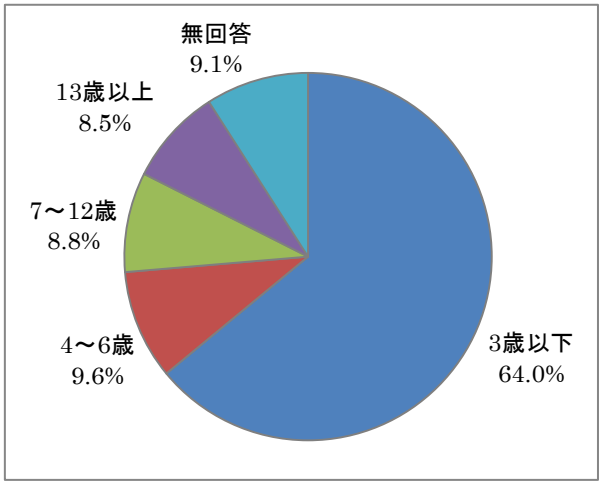
・アンケート回答者の居住地域は北勢地域が最も多く（55.9%）、5 割以上を占めた。そのつぎに多かったのは南勢地域であった（24.1%）。

３．婚姻の有無と、お子さんの有無について教えてください。（n＝381）



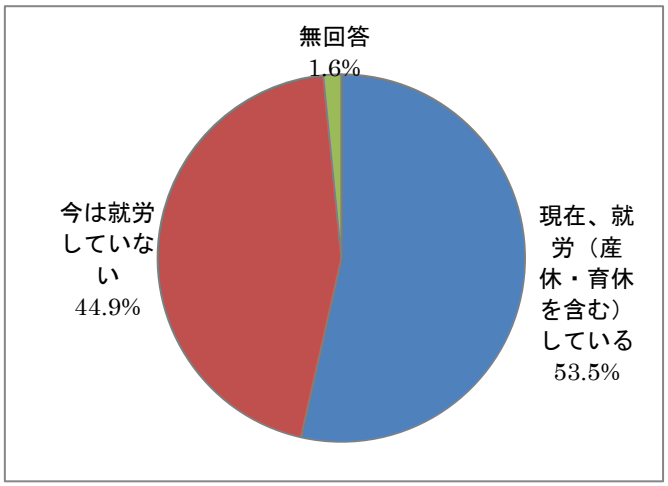
・アンケート回答者の婚姻および子ども有無については「既婚・子あり」が 86.9%を占めた。また「独身・子あり」（5.8%）を合わせると 92.7%ととなり、子どもがいる母親がほとんどであった。

４．Ｉ－３でお子さんがいると答えた方は末子年齢を教えてください。（n＝353）



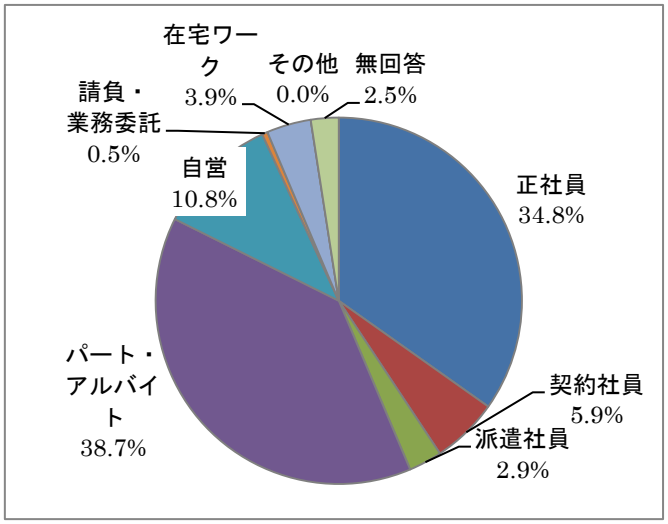
・婚姻の有無にかかわらず子どもがいると答えた女性の末子年齢についてたずねると、「3 歳以下」が 64%と半数以上を占めた。つぎに「4～6 歳」（9.6%）、「7～12 歳」（8.8%）、「13 歳以上」（8.5%）となり、末子年齢があがるにつれて割合が減少した。

５．現在、何らかの就労（産休・育休を含む）をしていますか？（n＝381）



・アンケート回答者の就労状況は現在就労中の女性が 53.5%、未就労の女性が 44.9%となり、就労中の女性がやや多かったがほぼ同じ割合となった。

６．Ｉ－５で「就労している」と回答した方に質問します。現在の雇用形態を教えてください。（n=204）

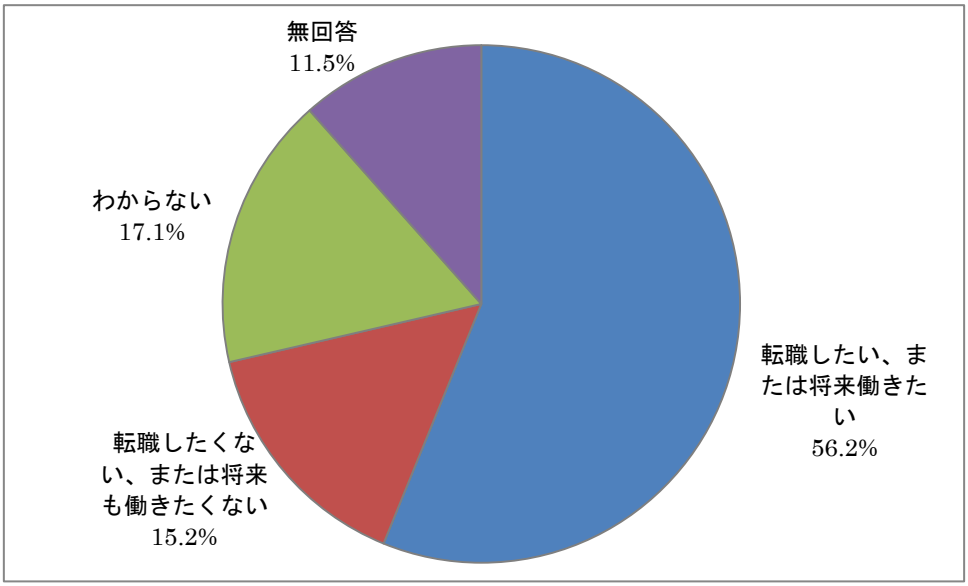


・現在就労中の女性に雇用形態についてたずねると、「パート・アルバイト」が最も多く（38.7%）、つぎに「正社員」（34.8%）であった。

Ⅱ．就労状況

１．現在、就労している方は転職の希望、また就労していない方は今後働く希望はありますか？

１）全体（n＝381）



・女性全体では「転職したい、または将来働きたい」と回答した女性が最も多く（56.2%）、「わからない」と回答した女性がその次に多かった（17.1%）。これらを合わせると 73.3%となり、7 割以上の女性が再就職・転職の希望がある、もしくは悩みを抱えながら意思決定できないニュートラルな状態にあることが分かった。

・「転職したくない、または将来も働きたくない」と回答した女性は 15.2%にとどまった。

・年代別にみると、「転職したい、または将来働きたい」と回答した女性は 20 代が最も多く（62.3%）、次に 40 代（59.2%）、30 代（57.7%）がつづいた。50 代以降は就職・転職の希望する割合が 30%以下に急減している。

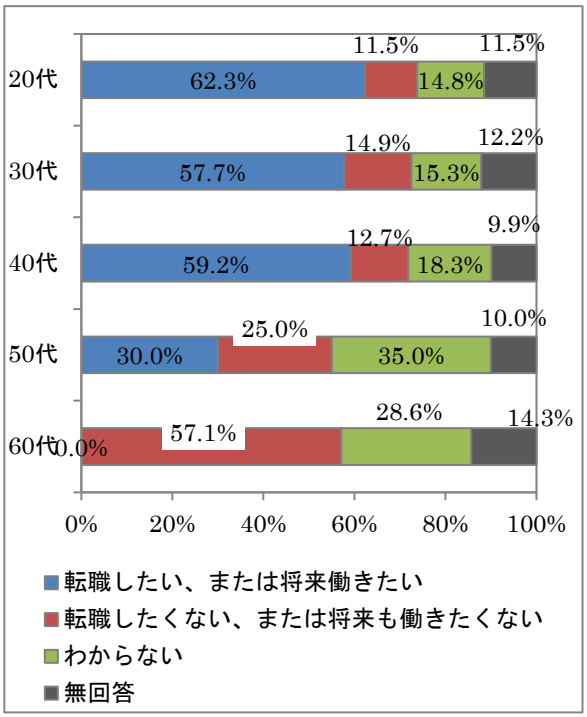
・地域別にみると、「転職したい、または将来働きたい」と回答した女性が最も多かったのは中勢地域（60.5%）であった。

・末子年齢別にみると、「転職したい、または将来働きたい」と回答した女性が最も多かったのは 4～6 歳の子をもつ母親で（67.6%）、末子の幼稚園入園をきっかけにしている女性が多いと見られる。また、その次に多かったのは 3 歳以下の子をもつ母親で（58.0%）、幼稚園入園を待たずに早い段階から再就職・転職を考える傾向も強いことが伺える。しかし、7 歳以上の子を持つ母親になるとこの傾向は弱まり「転職したくない、または将来も働きたくない」と「わからない」と回答する女性が増えている。再就職・転職を迷っている期間が長いほど、働く意欲を失う、または意思決定ができなくなる女性が多いと見られる。

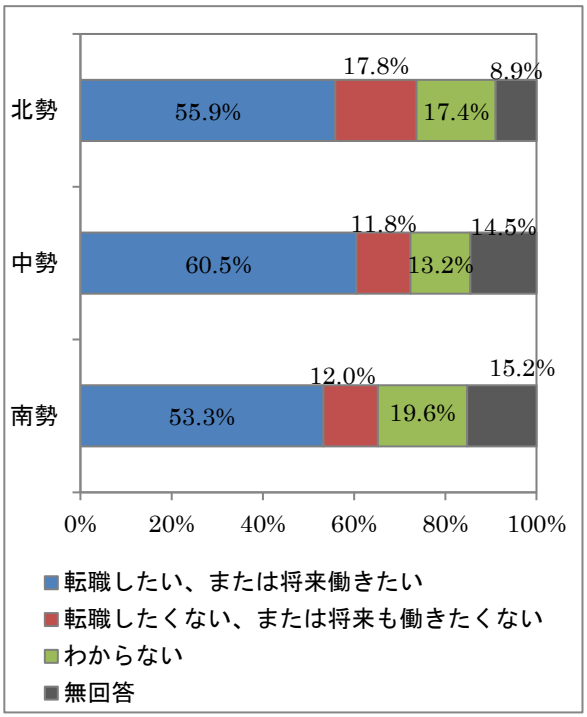
・就労の有無別にみると、未就労の女性では「将来働きたい」という回答が 76%と 8 割近くにのぼり、「将来働きたくない」という回答はわずか 2.9%のみであった。また、現在就労中の女性で

は「転職したい」（39.7%）女性と、「わからない」（26.5%）女性を合わせると 66.2%となり、いまの職場に何らかの不満・悩みを抱えている女性が 6 割以上にのぼった。

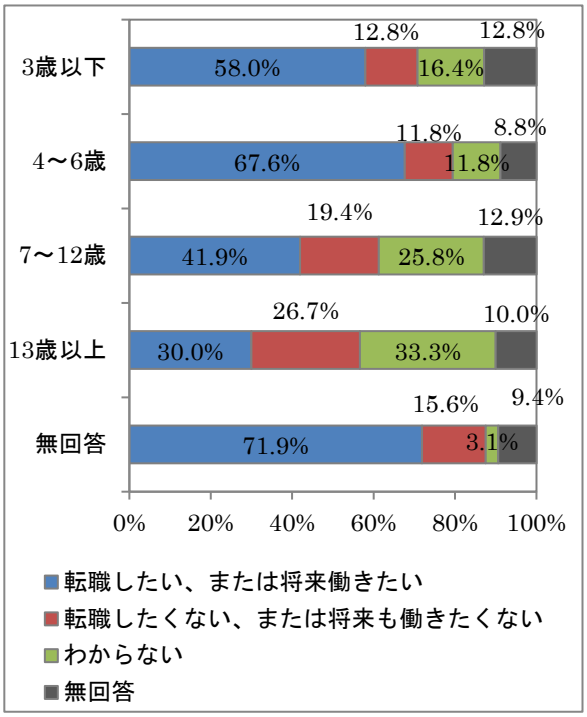
２）年代別（n＝381）



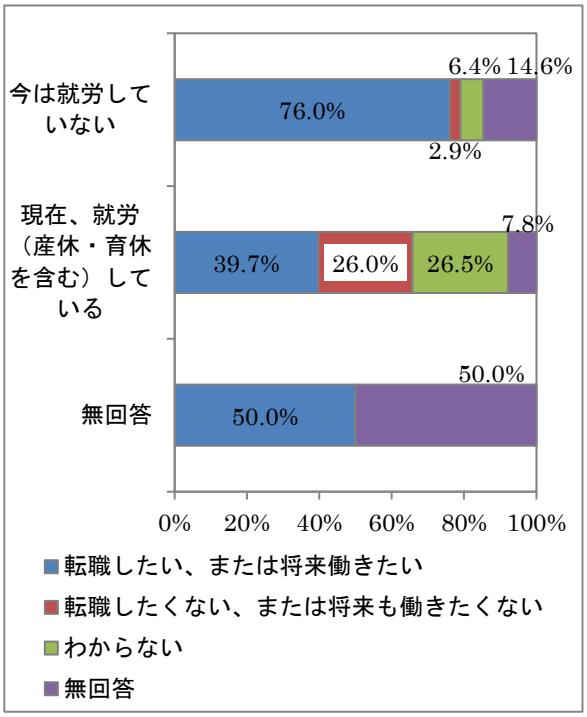
３）地域別（n＝381）



４）末子年齢別（n＝353）

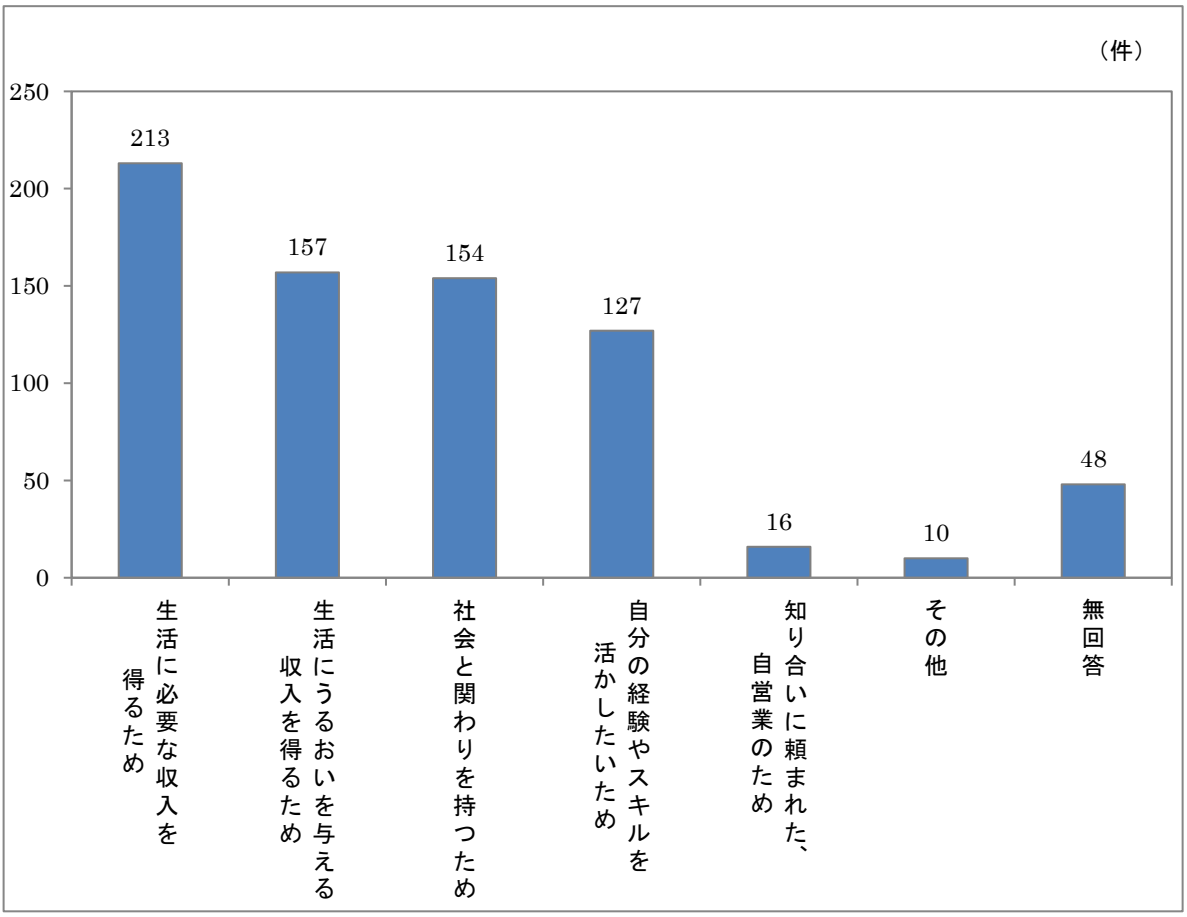


５）就労の有無別（n＝381）



２．現在、就労している方はその理由、また就労していない方は今後働くとしたらその理由は何ですか？※複数回答

１）全体（n＝381）



・女性全体の働く理由で最も多かったのは「生活に必要な収入を得るため」（213 件）で、その次に　「生活にうるおいを与える収入を得るため」（157 件）、「社会との関わりを持つため」（154 件）の順に多かった。

・年代別にみると、20 代と 30 代では「生活に必要な収入を得るため」がとりわけ多く、40 代以降になると「社会と関わりを持つため」や「自分の経験やスキルを活かしたいため」など経済的理由だけでなく社会参加や自己実現も理由となっている傾向が強い。

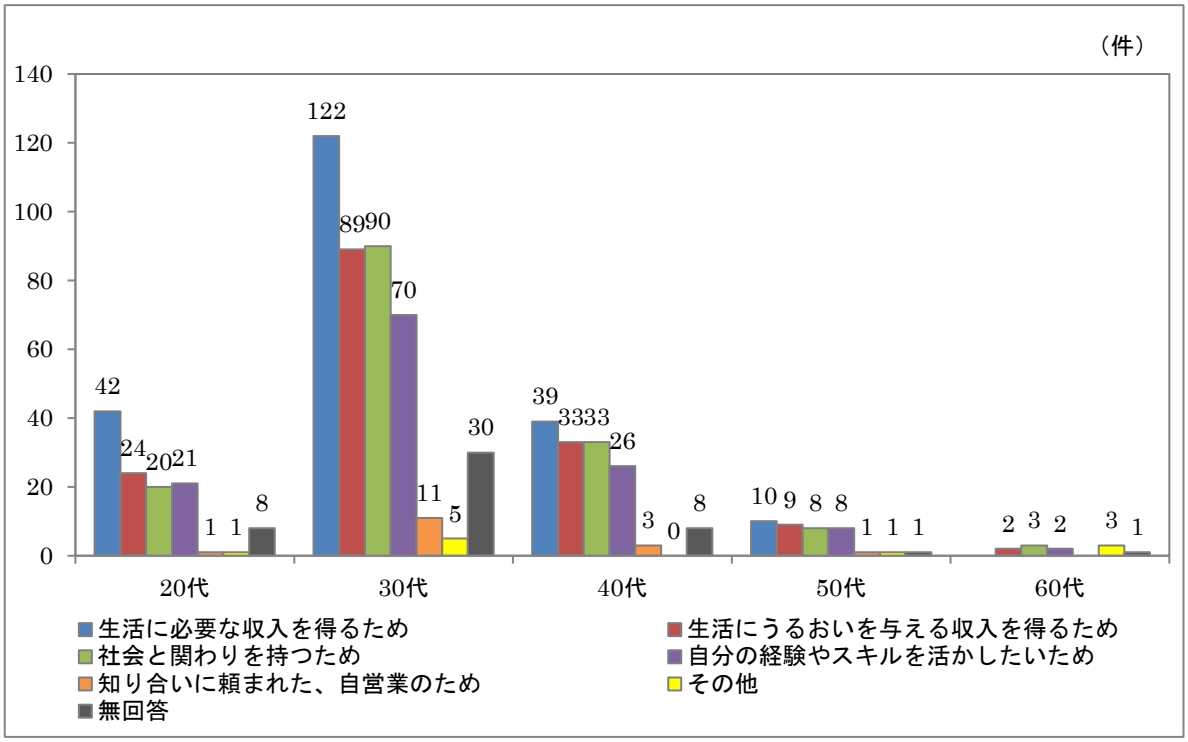
・地域別にみると、南勢地域では他の地域に比べて「生活に必要な収入を得るため」という回答件数がとくに多い一方（60 件）、「自分の経験やスキルを活かしたいため」が少なかった（17 件）。

・末子年齢別にみると、3 歳以下の子をもつ母親は他の年齢に比べて「生活に必要な収入を得るため」がとくに多かった（122 件）が、子の年齢が上がるほど経済的理由や社会参加、自己実現など各理由の差が小さくなった。

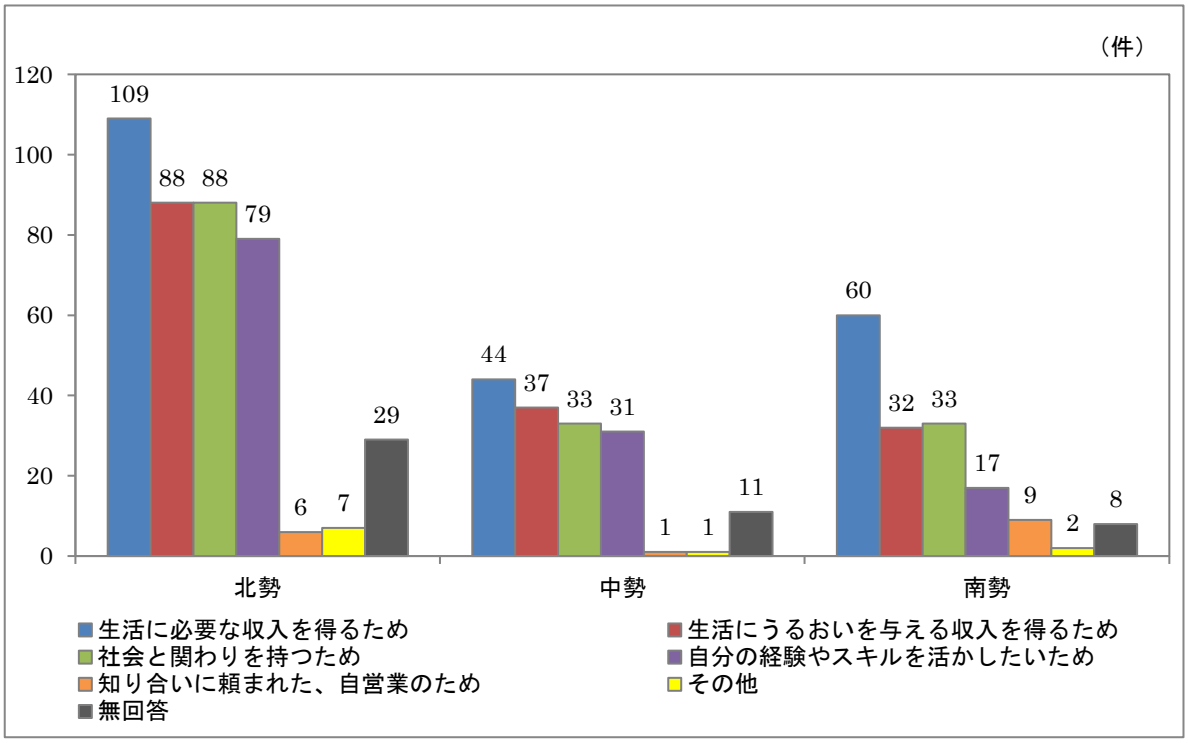
・就労の有無別にみると、現在就労中の女性は「生活に必要な収入を得るため」（137 件）がとくに多くなった一方、未就労の女性は各回答にあまり大きな差が出なかった。就労中の女性は経

済的に働く必然性がある一方、未就労の女性は働く必然性を欠いている状態と見られる。

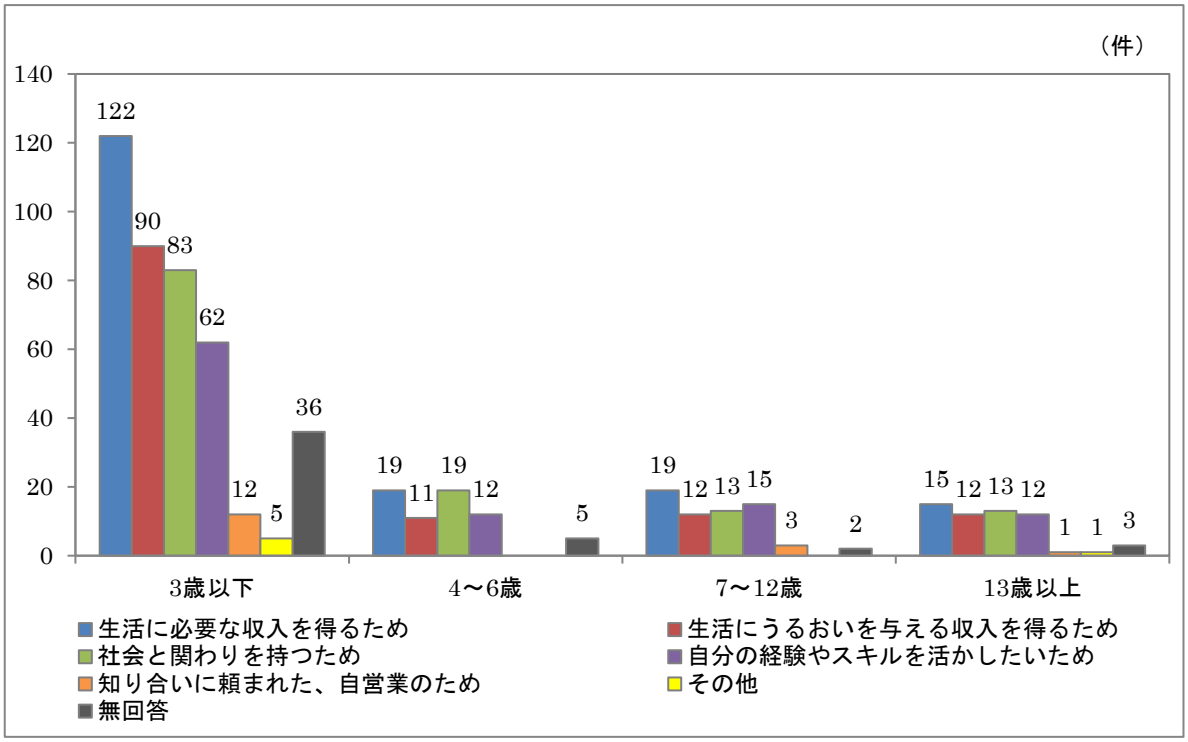
２）年代別（n＝381）



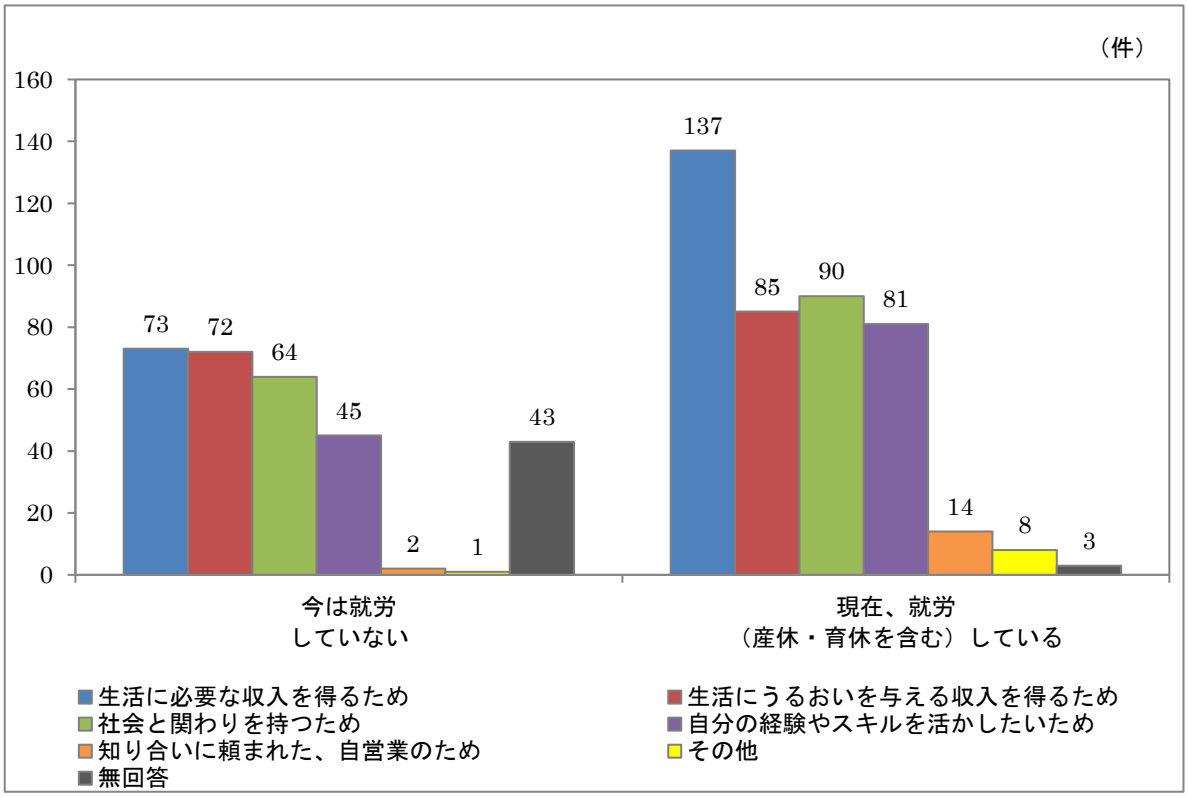
３）地域別（n＝381）



４）末子年齢別（n＝353）



５）就労の有無別（n＝381）

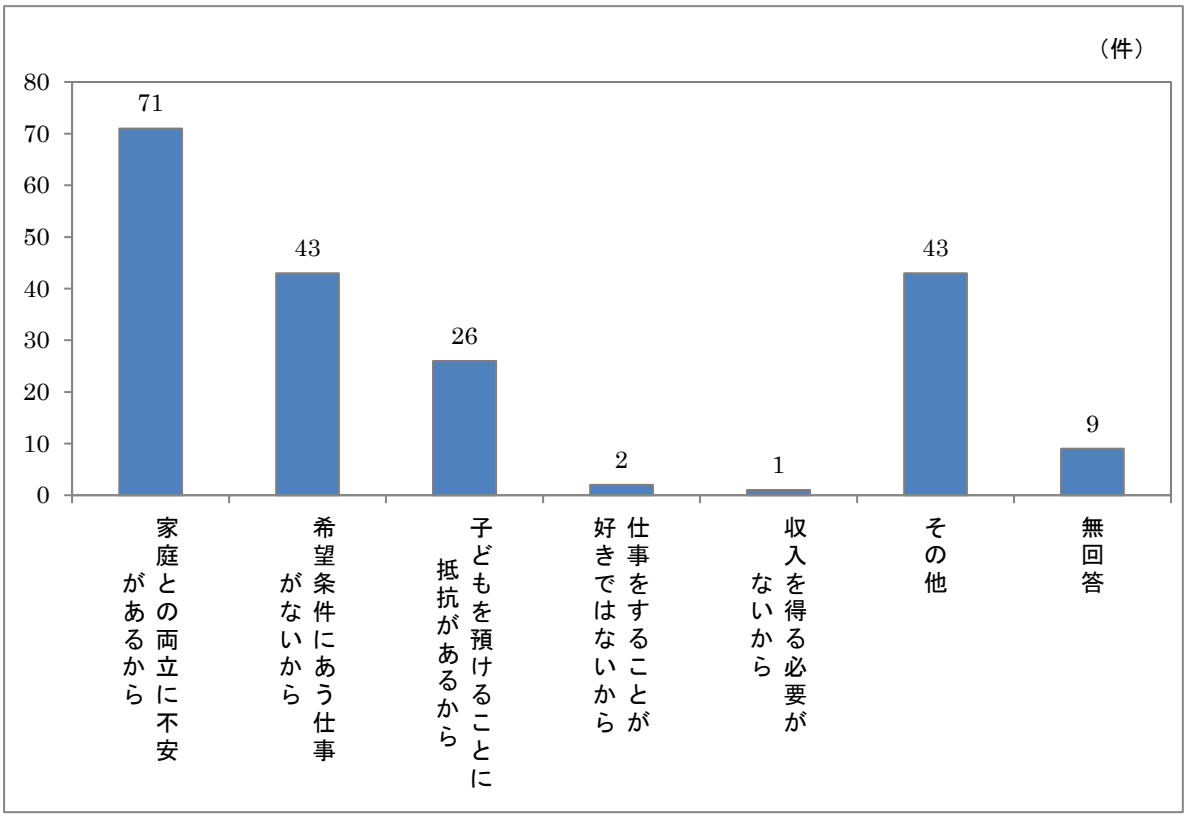


（その他の理由）

・気分転換
・勤務地が遠い
・子どもの将来の為
・給与を始め、手当てが良い
・女性、子持ちに対しても対応するキャリア形成を考慮してくれる企業
・夜勤がなく、残業がほとんどない

３．就労していない方はその理由は何ですか？※複数回答

１）全体（n＝171）



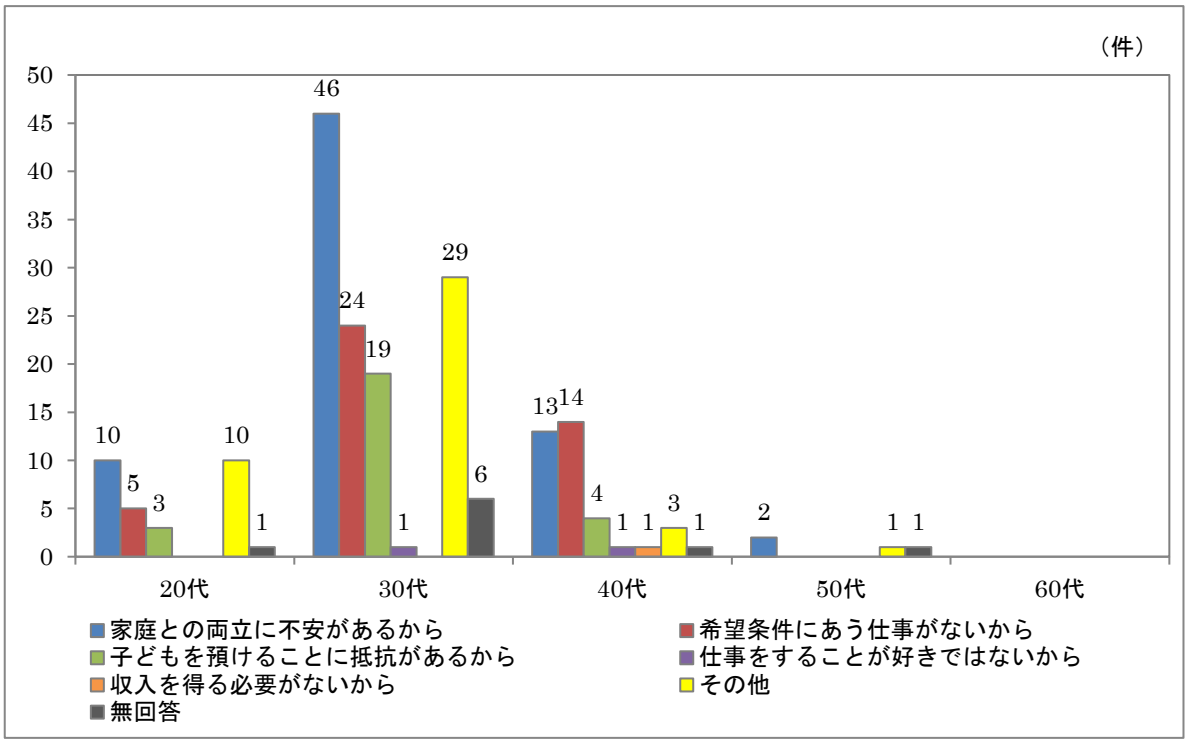
・未就労の女性が働いていない理由として、全体的に「家庭との両立に不安があるから」が最も多かった（71 件）。つぎに「希望条件にあう仕事がないから」（43 件）、「子どもを預けることに抵抗があるから」（26 件）の順に多く、「仕事をすることが好きではないから」と「収入を得る必要がないから」は僅少にとどまった。家庭と両立したい、子どもが犠牲になるのではないかと心配するあまり、就職に躊躇する意見が多かった。

・年代別にみると、20 代と 30 代女性は「家庭との両立に不安があるから」という回答が最も多く、40 代は「希望条件にあう仕事がないから」が最も多くなった。

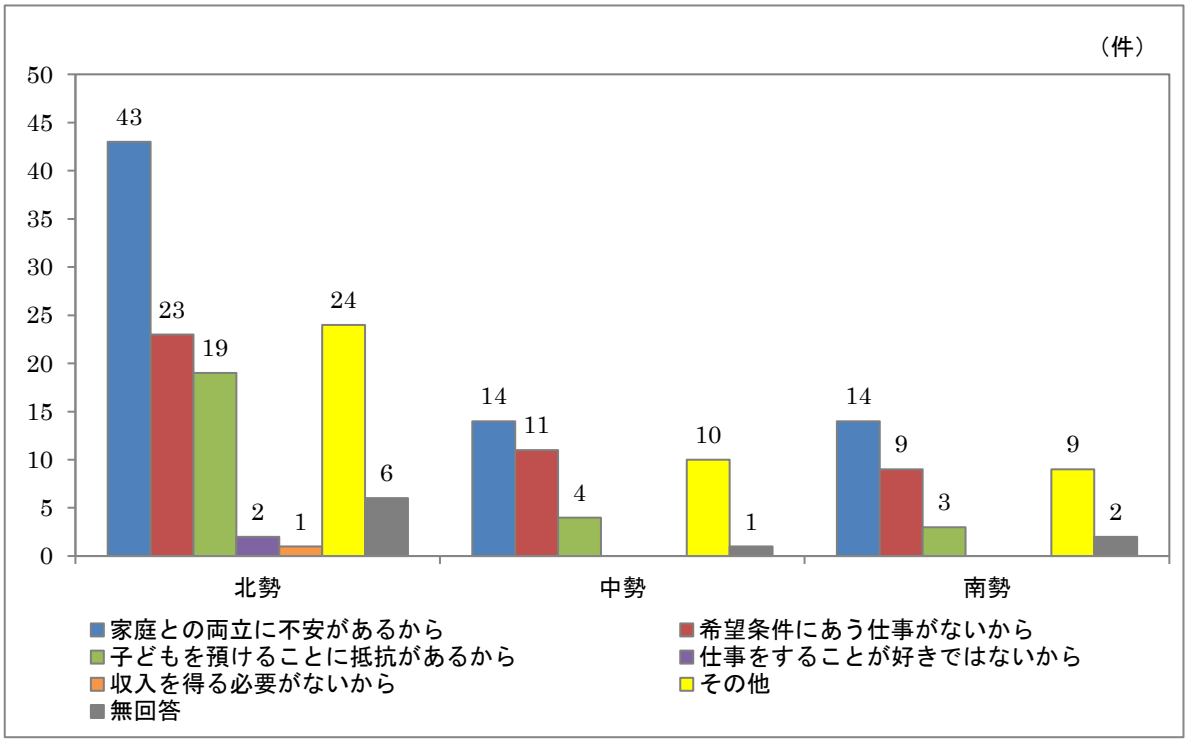
・地域別にみると、北勢地域は他の地域に比べて「家庭との両立に不安があるから」と回答する女性が多くなった。これは都市部ほど子どもの病気時などに頼れる親類縁者が不足しているからではないか？と推測される。

・末子年齢別にみると、3 歳以下の子をもつ母親は他の年齢に比べて「家庭との両立に不安があるから」が最も多くなった一方、4 歳以上の子をもつ母親では「希望条件にあう仕事がないから」が最も多くなった。子どもの年齢が小さいほど病気など緊急時の対応や保育園不足などで仕事と家庭の両立が難しいと感じる女性が多い。

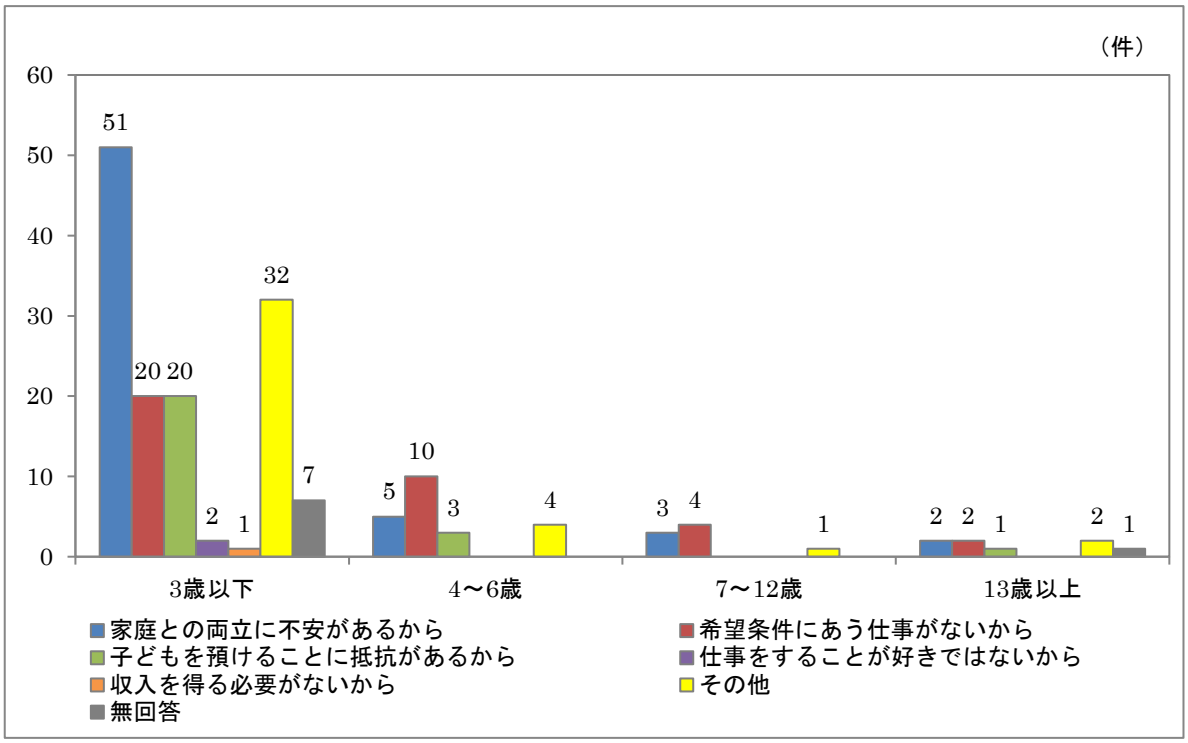
２）年代別（n＝171）



３）地域別（n＝171）



４）末子年齢別（n＝171）


（件）
60
50
40
30
20
10
0
51
20 20
2
1
32
7
5
10
3
4
3
4
1
2
2
1
2
1
3歳以下
4～6歳
7～12歳
13歳以上
家庭との両立に不安があるから
希望条件にあう仕事がないから
子どもを預けることに抵抗があるから
仕事をすることが好きではないから
収入を得る必要がないから
その他
無回答

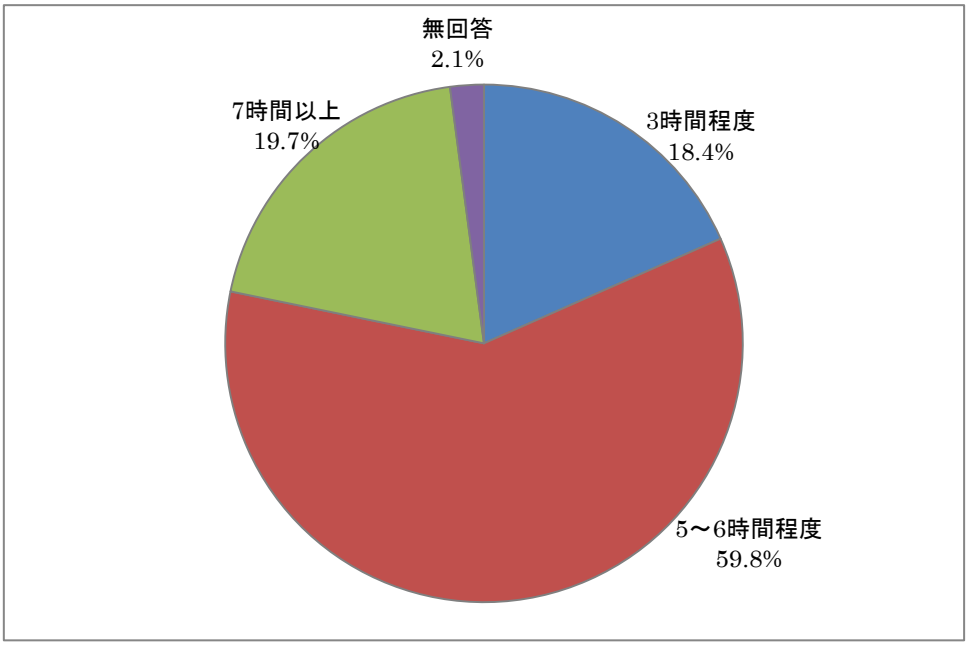
（その他の理由）

・夫の転勤に帯同したため前職を辞めざるを得なかった
・妊活を優先しているから
・転勤族で、正職を得づらい。また、妊娠中である。子が生まれた後、パートとして働いた場合子供が預けられるのか不安もある。
・生涯現役で居られる専門職のスキルを身に付けたいため
・出産のため
・子供を保育園に預けてまで働きたいとは思わないから
・子供が就学するまでは一緒に過ごしたいと思ったから
・子供がまだ保育所に預けれていないので
・まだ子どもが幼いため
・保育料が高い
・保育園連絡待ち
・引っ越しに伴う退職
・引っ越し中
・引っ越ししたばかり
・妊娠中
・出産してすぐだから
・子どもを預けられない
・子供の預け先
・子供が小さいときは成長を見たい
・子どもが小さい
・アレルギーがあるから
・預け先がない
・3 歳までは家庭に居たい
・2 歳くらいまでは預けず一緒にいたいか

Ⅲ．希望する就労条件

１．希望する勤務時間（一日あたり）はどれくらいですか？

１）全体（n＝381）



・女性全体の希望勤務時間は一日当たり「5～6 時間程度」が 59.8%と圧倒的に多かった。ちょうど短時間勤務制度を利用した場合と同じ勤務時間のニーズが最も高かった。また「7 時間以上」と回答した女性は 19.7%にとどまり、フルタイム勤務を希望する女性はある程度存在するものの少数派であることが分かった。

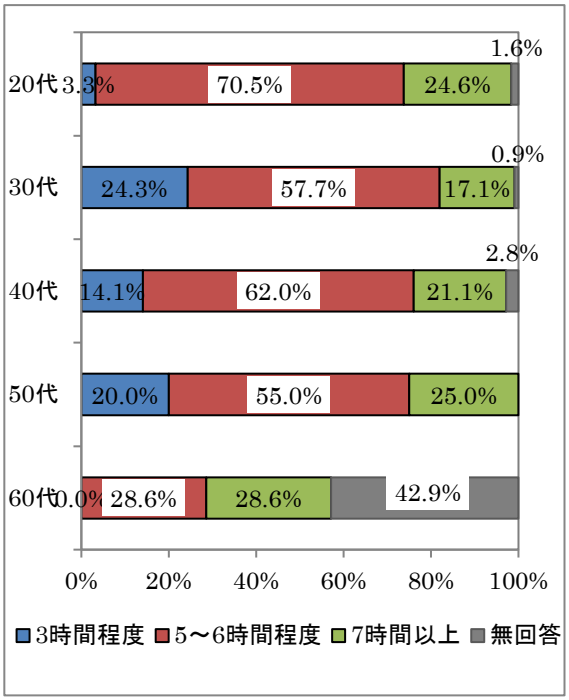
・年代別にみると、20 代女性は「3 時間程度」を希望する割合が他の年代に比べて圧倒的に低く（3.3%）、「5～6 時間程度」（70.5%）と「7 時間以上」（24.6%）を希望する女性をあわせると 9 割以上となり、働く意欲が高いことが分かった。

・地域別にみると、「3 時間程度」を希望する女性は北勢地域が最も多く（20.7%）、南勢地域が最も少なかった（15.2%）。

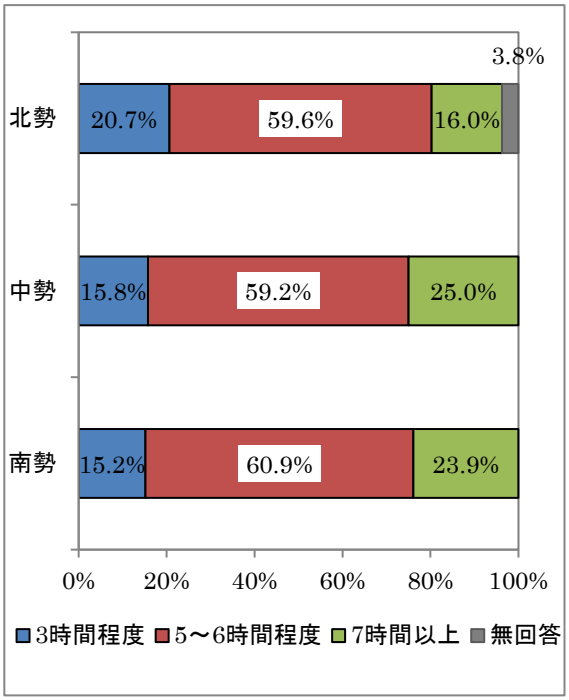
・末子年齢別にみると、「3 時間程度」を希望する女性は 7 歳以上の子をもつ母親になると減少し、「7 時間以上」を希望する割合が増加した。子どもの小学校入学をきっかけに働き方を見直す女性が多いと見られる。

・就労の有無別にみると、現在就労中の女性は「5～6 時間程度」（62.3%）や「7 時間以上」（30.4%）の割合があわせて 9 割以上を占めた一方、未就労の女性は 6 割強にとどまり「3 時間程度」（32.7%）の割合が 3 割強にのぼった。就労中の女性ほど家庭と仕事を両立できる環境が整っているため長時間働けるが、未就労の女性はその環境が整っておらず短時間のパートから仕事復帰を望む傾向が強いと見られる。

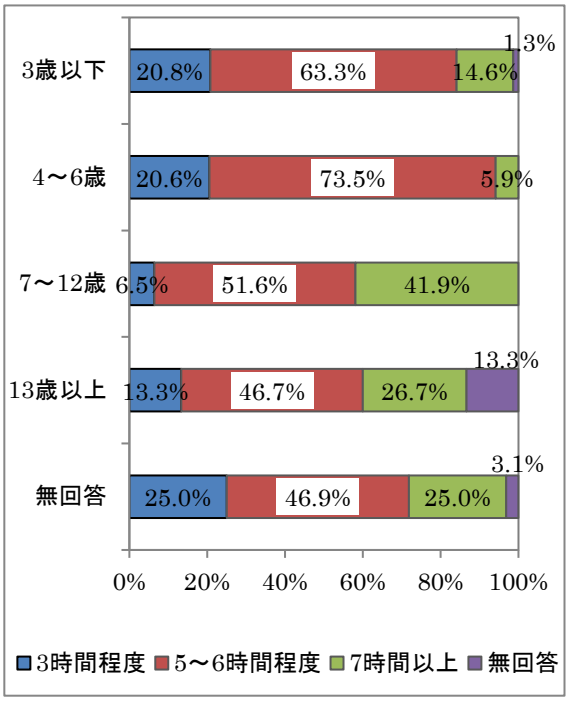
２）年代別（n＝381）



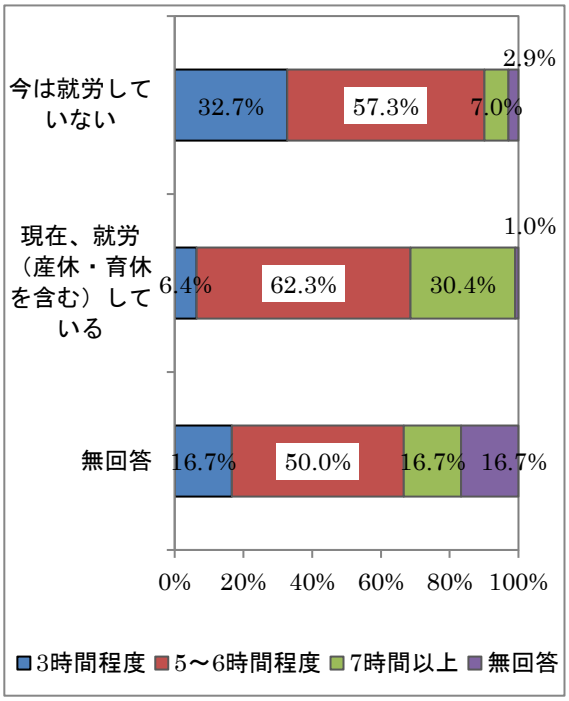
３）地域別（n＝381）



４）末子年齢別（n＝353）

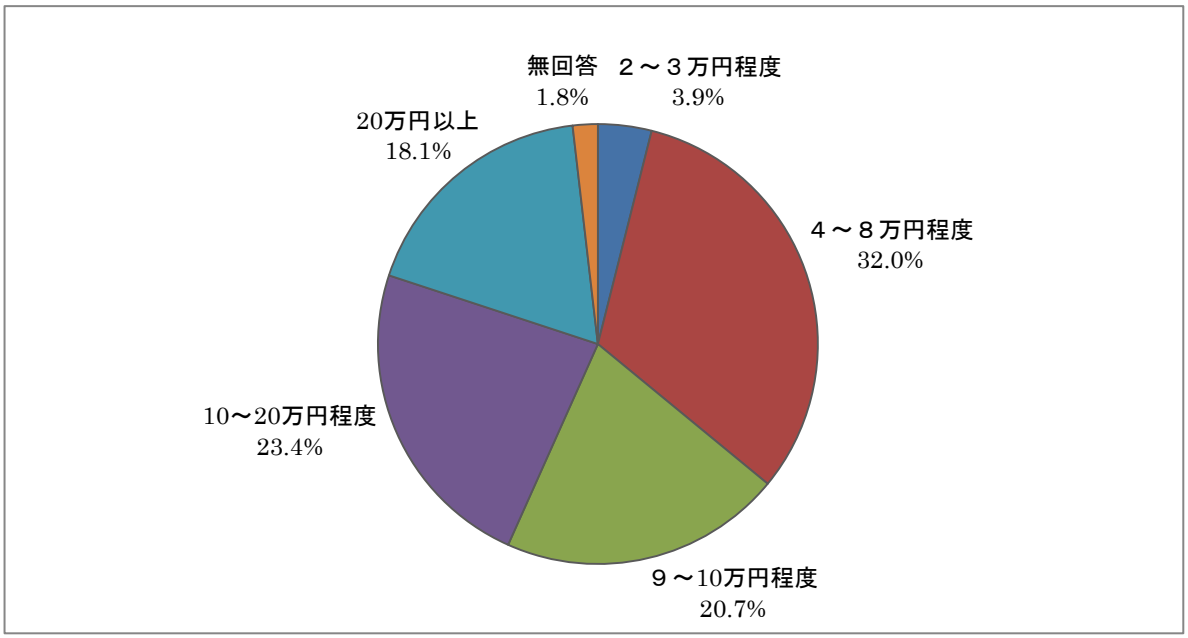


５）就労の有無別（n＝381）



２．希望する収入月額はどれくらいですか？

１）全体（n＝381）



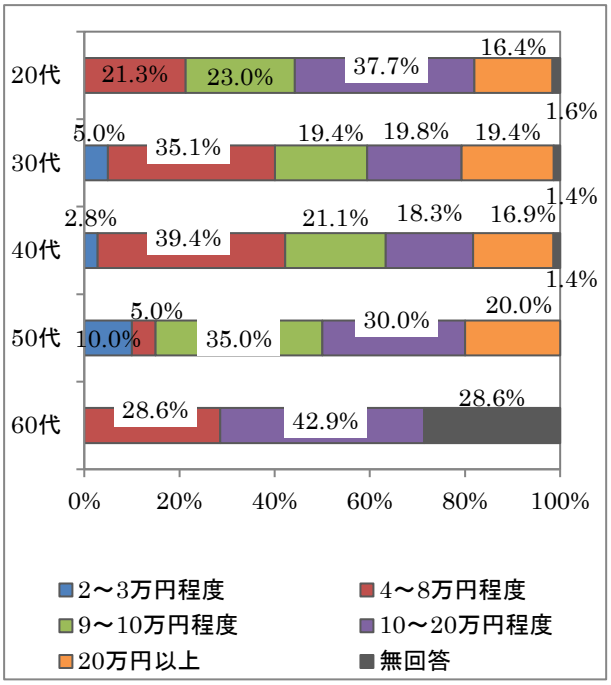
・女性全体の希望収入月額は「4～8 万円程度」が最も多く（32.0%）、その次に「10～20 万円程度」（23.4%）、「9～10 万円」（20.7%）の順になった。「2～3 万円程度」（3.9%）を除いて各回答割合はだいたい 2～3 割前後となり、希望する収入月額は個人によってバラつきが多い結果となった。

・年代別にみると、最も多い希望収入月額は 20 代と 60 代の女性が「10～20 万円程度」、30 代と 40 代女性は「4～8 万円程度」、50 代女性は「9～10 万円程度」となった。20 代をのぞいて年代があがるにつれて希望収入月額が増えることが分かった。

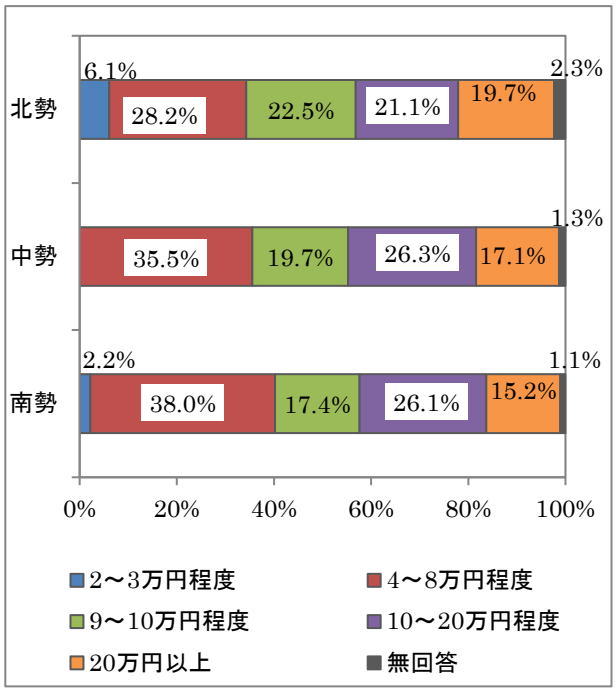
・末子年齢別にみると、最も多い希望収入月額は 3 歳以下と 4～6 歳の子をもつ母親が「4～8 万円程度」、7～12 歳の子をもつ母親が「20 万円以上」、13 歳以上の子をもつ母親が「10～20 万円程度」となった。子どもの年齢が小さいほど希望収入月額も低くなる傾向がある。

・就労の有無別にみると、現在就労中の女性の希望収入月額は「10～20 万円程度」（31.4%）と「20 万円以上」（31.4%）が最も高かったのに対して、未就労の女性は「4～8 万円程度」の割合が最も高くなった（52%）。就労中の女性は生活資金として十分な収入をのぞむ傾向にあるが、未就労の女性は生活にゆとりを持てる程度の収入しか希望していない傾向が強い。

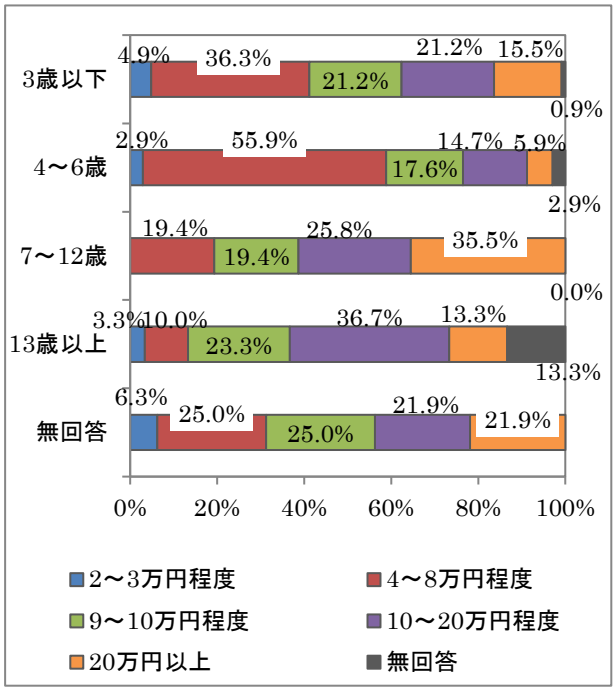
２）年代別（n＝381）



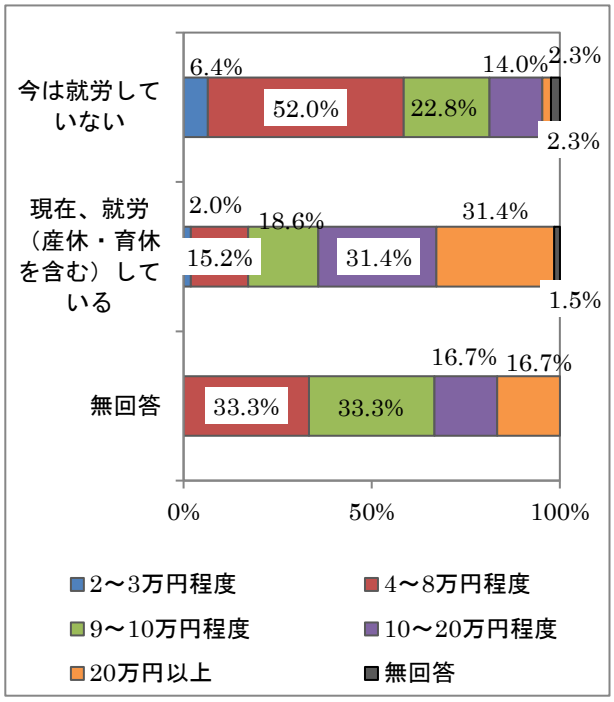
３）地域別（n＝381）



４）末子年齢別（n＝353）

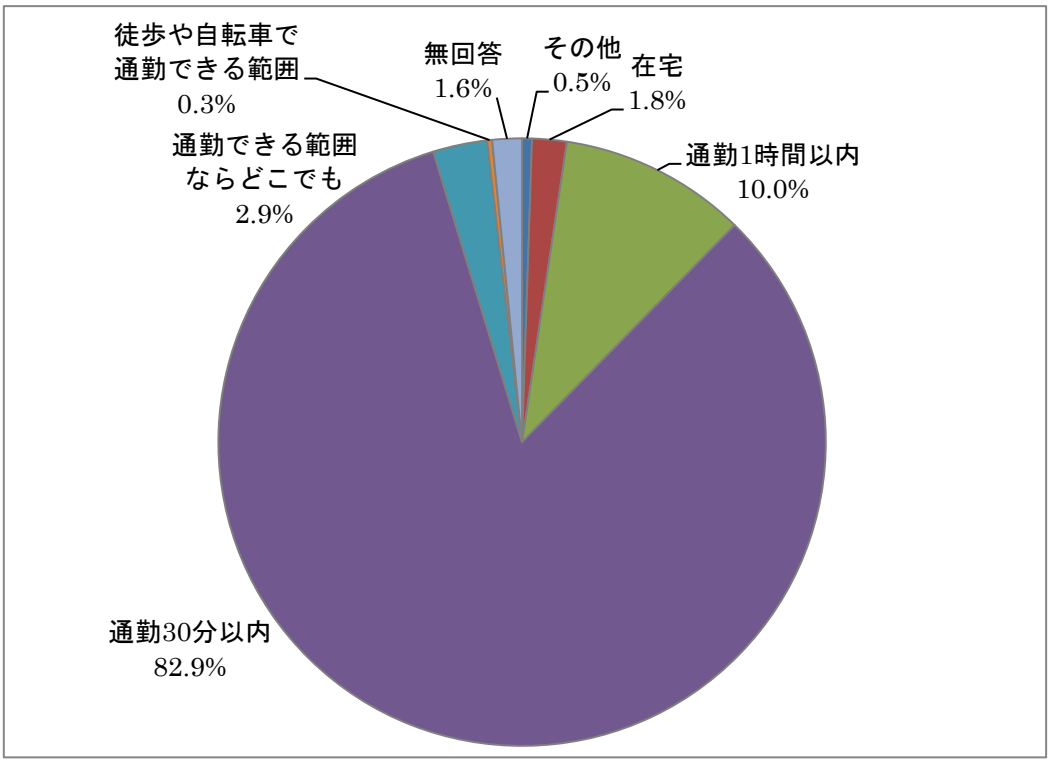


５）就労の有無別（n＝381）



３．希望する通勤範囲はどれくらいですか？

１）全体（n＝381）



・女性全体の希望通勤範囲は、「通勤 30 分以内」が 82.9%と圧倒的に多かった。その次に「通勤 1 時間以内」が多くなった（10%）。家庭と職場の近さが女性にとって重要な要素であることが分かる。

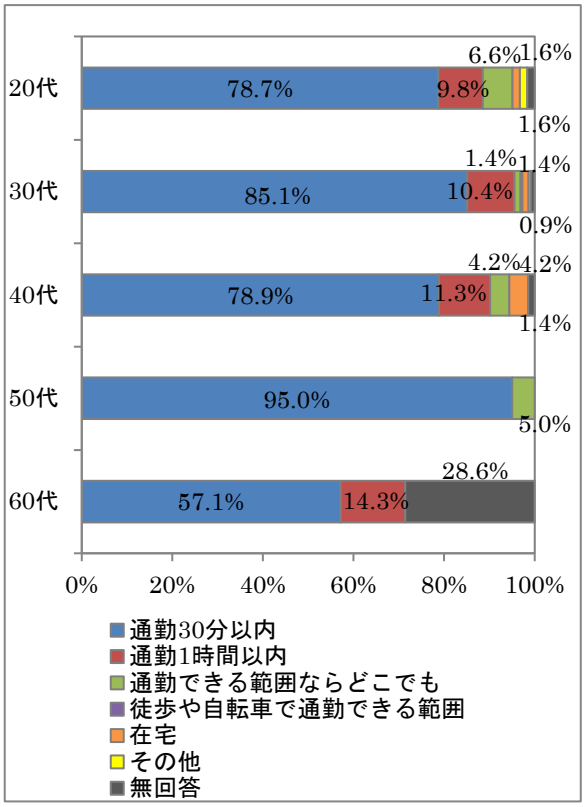
・年代別にみると、60 代女性は「通勤 30 分以内」を望む割合が他の年代に比べて低く（57.1%）、「通勤 1 時間以内」が高くなった（14.3%）。

・地域別にみると、「通勤 30 分以内」を望む割合が最も高かったのは南勢地域であった（94.6%）。

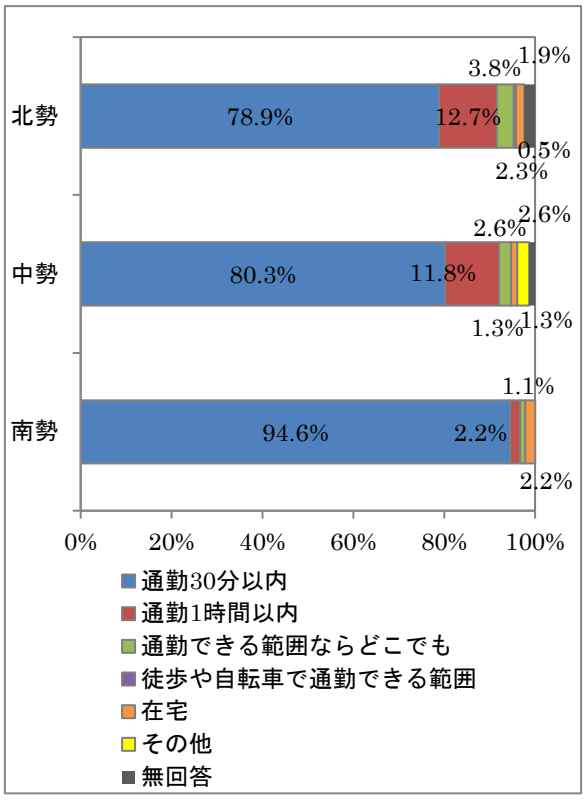
・末子年齢別にみると、「通勤 30 分以内」を望む割合は 3 歳以下の子をもつ母親は 89.4%であったのに対して、13 歳以上は 76.7%だった。子どもの年齢があがるにつれて希望通勤範囲が広がる傾向にある。

・就労の有無別にみると、「通勤 30 分以内」を望む割合は現在就労中の女性が 80.9%に対し、未就労の女性が 85.4%とやや多いが、あまり差のない結果となった。

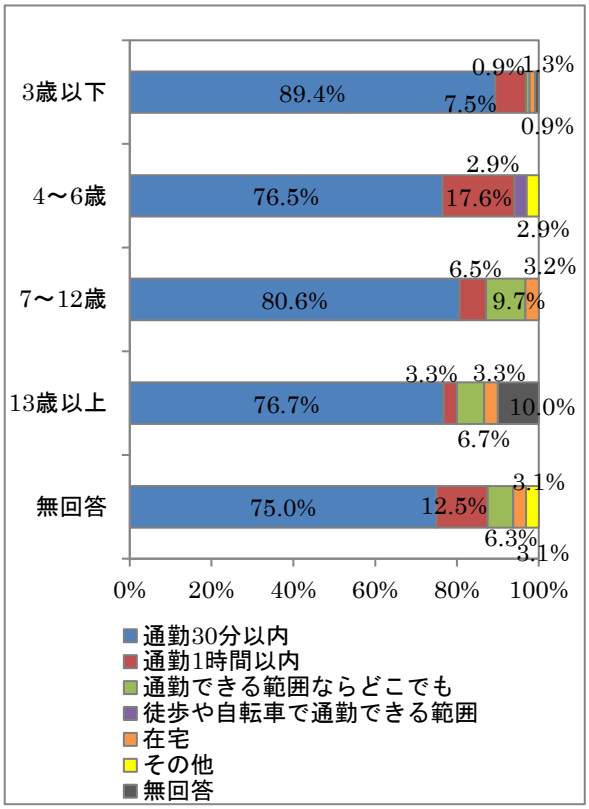
２）年代別（n＝381）



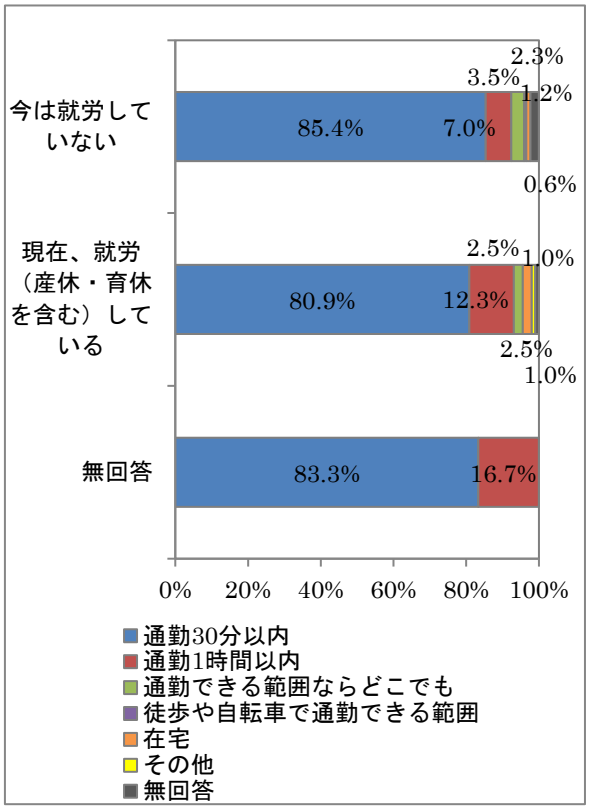
３）地域別（n＝381）



４）末子年齢別（n＝353）

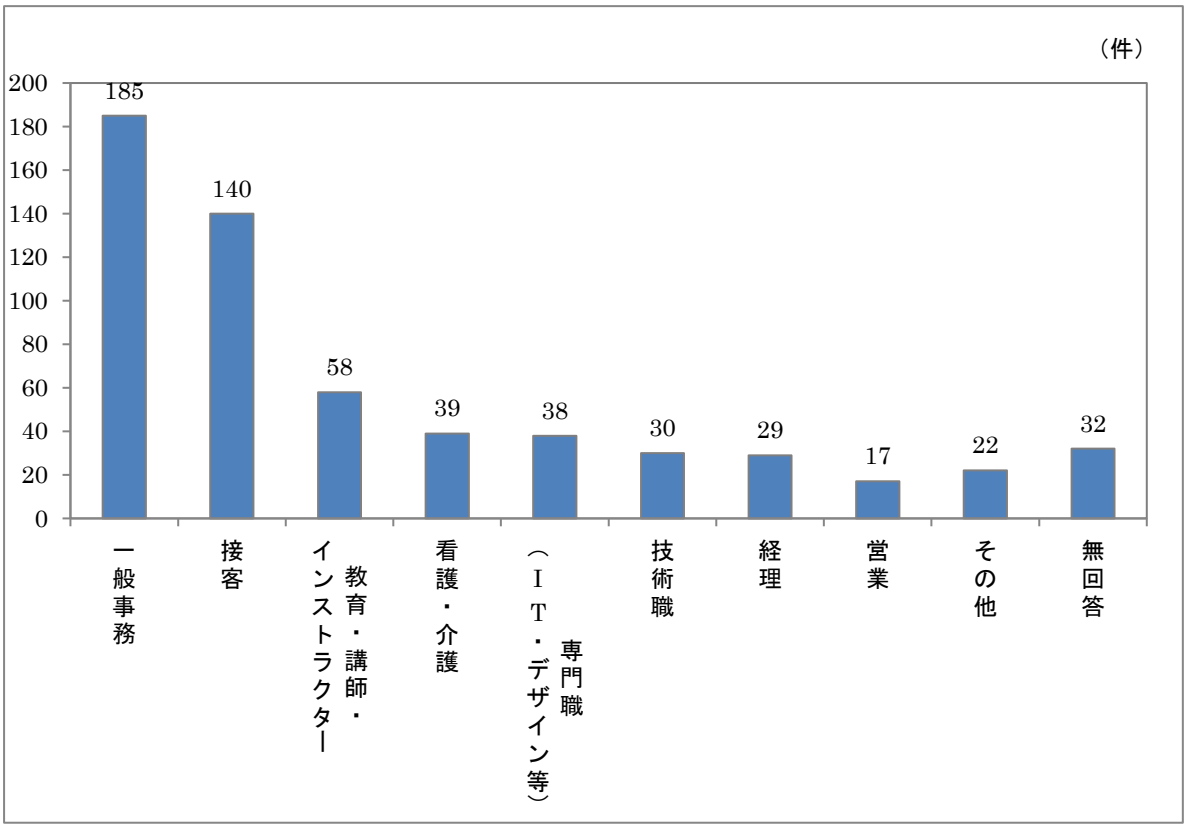


５）就労の有無別（n＝381）



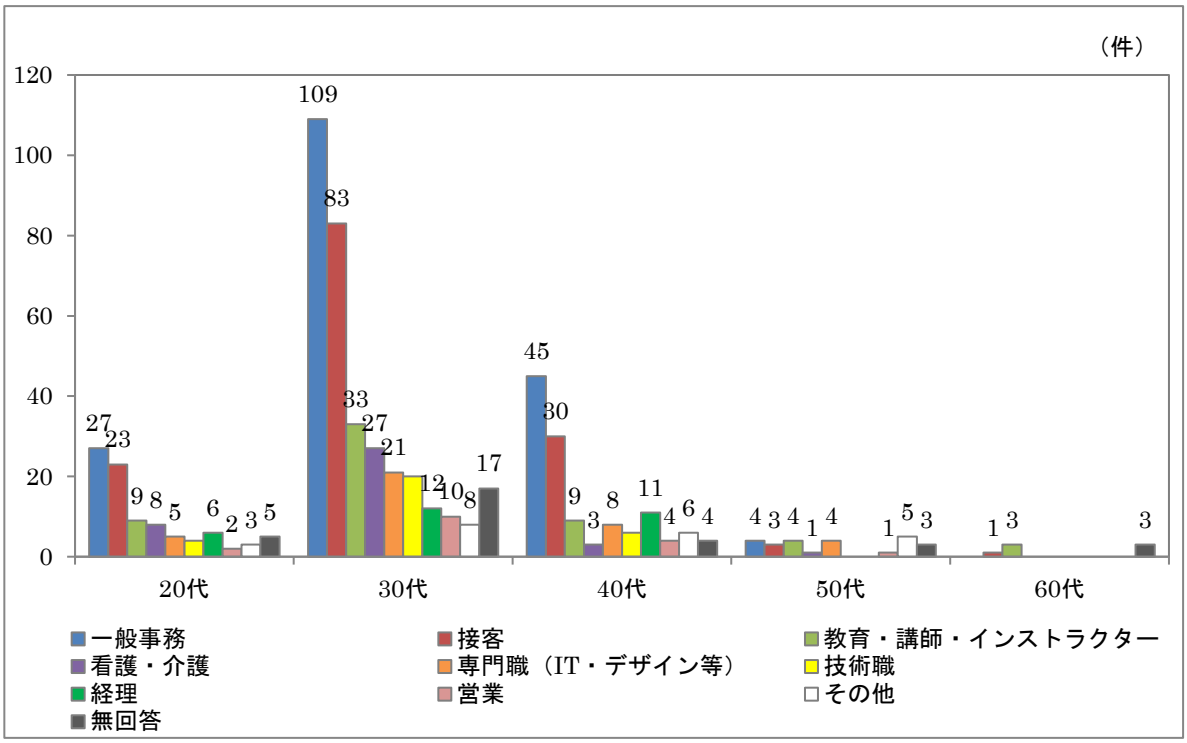
４．希望する職種は何ですか？※複数回答

１）全体（n＝381）

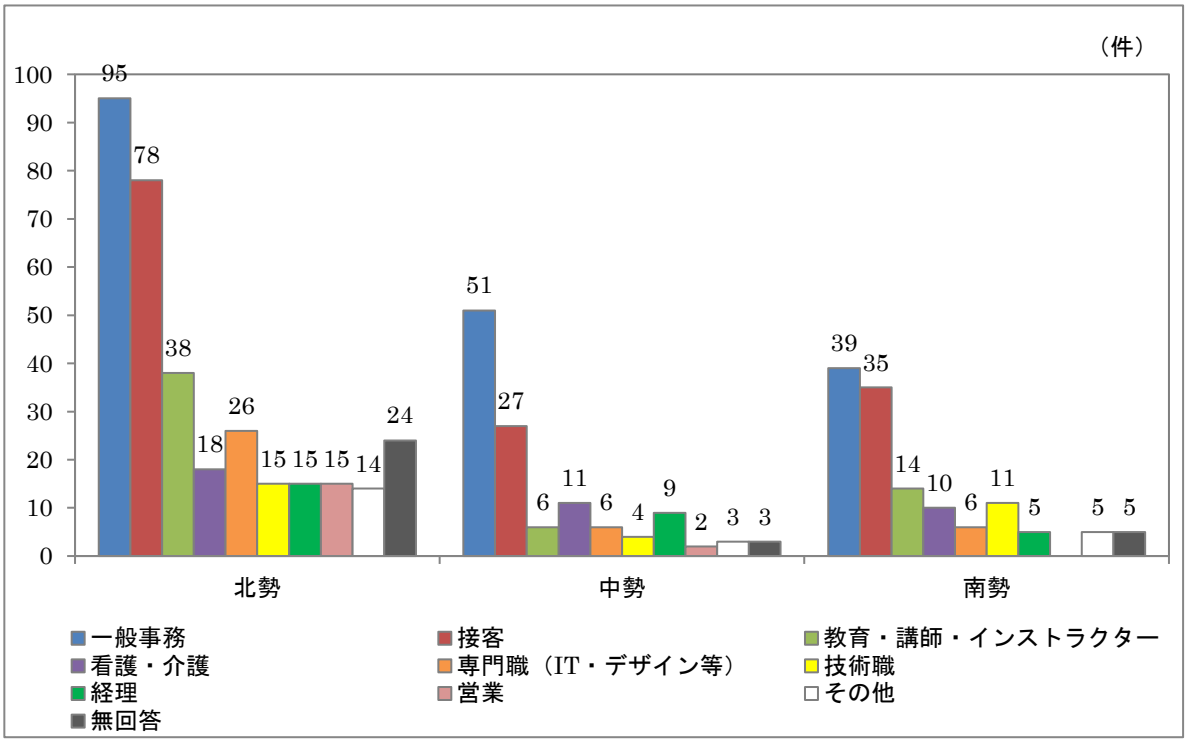


・女性全体の希望職種は、「一般事務」が最も多く（185 件）、つぎに「接客」（140 件）、「教育・講師・インストラクター」（58 件）の順に多かった。
・年代別にみると、30 代と 40 代女性は他の年代にくらべて「一般事務」を望む件数がとくに多かった。
・地域別にみると、北勢地域は希望職種の 4 番目に「専門職（IT・デザイン等）」が多くなった。また南勢地域は「一般事務」と「接客」の件数がほぼ同じとなった。
・末子年齢別ではいずれも「一般事務」と「接客」を望む件数が多く、各年齢別に差が見られなかった。
・就労の有無別にみると、未就労の女性は「一般事務」と「接客」を望む件数がとりわけ多かった。現在就労中の女性が望む職種は「一般事務」と「接客」が上位 2 位となったものの、「教育・講師・インストラクター」や「看護・介護」、「専門職（IT・デザイン等）」などとの差が未就労の女性ほど大きくなかった。

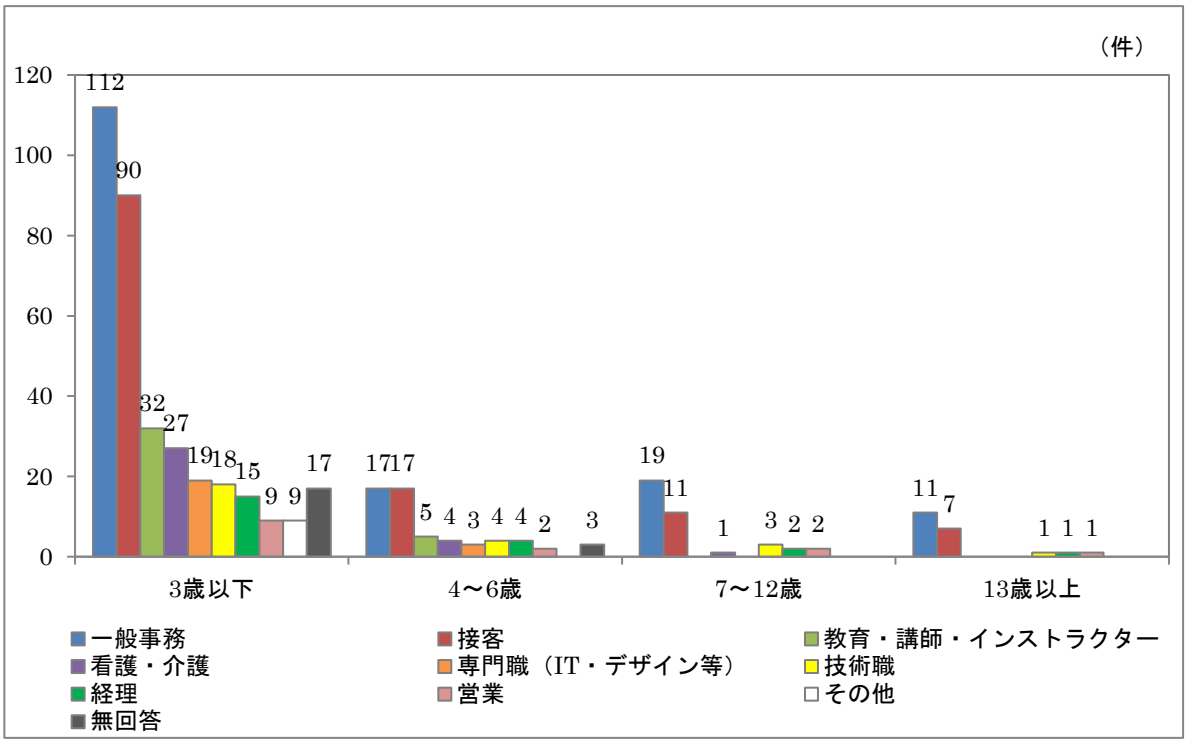
２）年代別（n＝381）



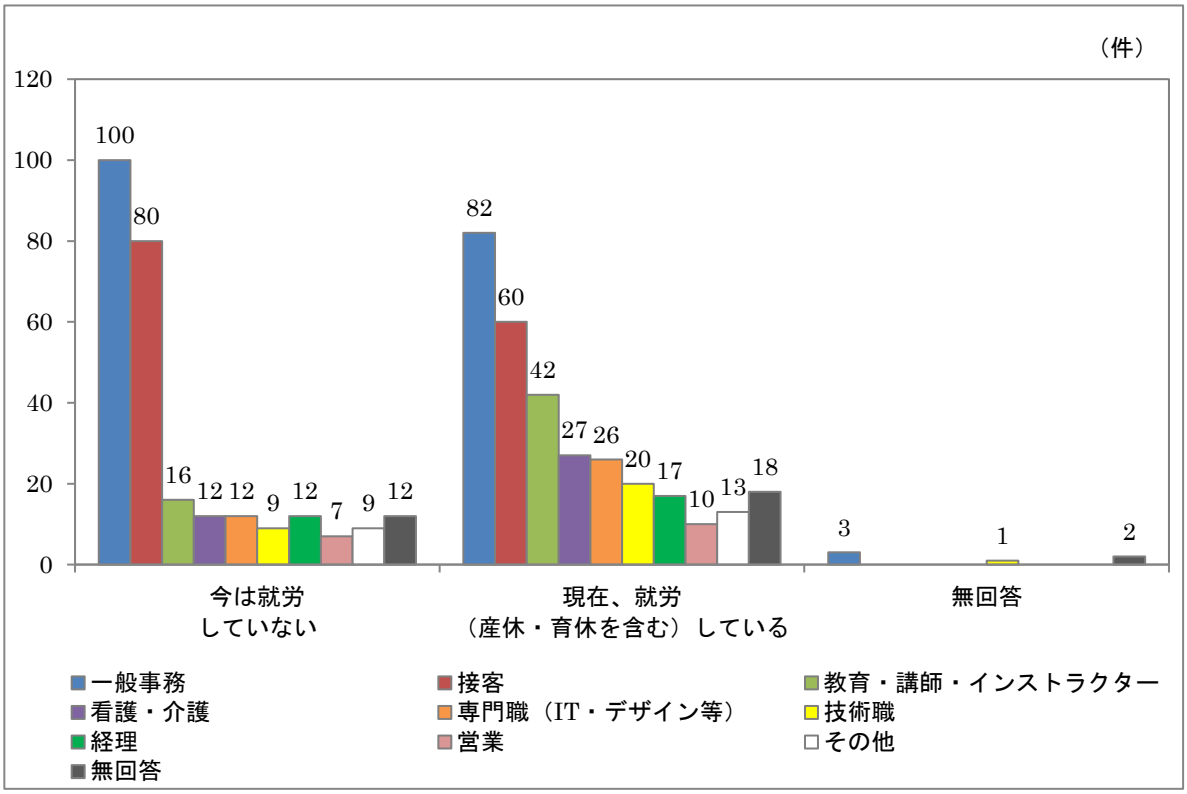
３）地域別（n＝381）



４）末子年齢別（n＝353）



５）就労の有無別（n＝381）



（その他の職種）

・画家

・簡単な作業

・自営

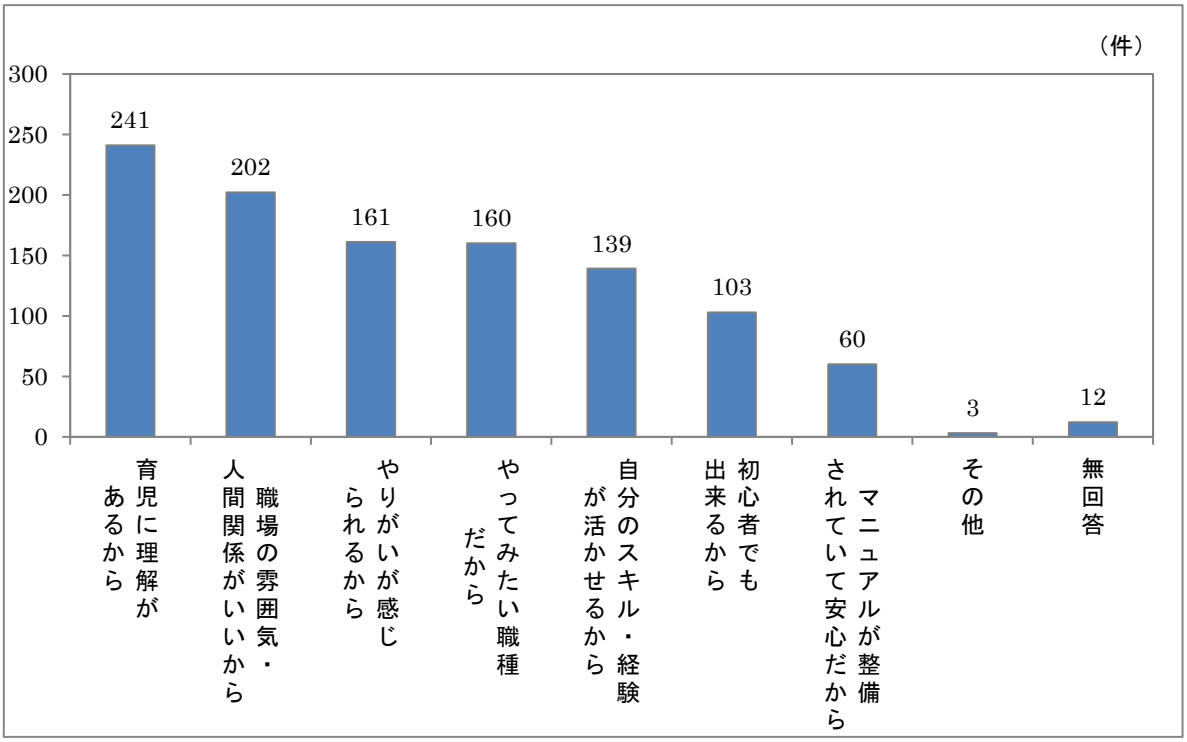
・相談職

・流れ作業

・保育士

５．希望条件が全て満たされなくても就労するとしたらどんな理由が考えられますか？※複数回答

１）全体（n＝381）



・女性全体では、希望条件が全て満たされなくても就労する理由トップに「育児に理解があるから」（241 件）、2 位に「職場の雰囲気・人間関係がいいから」（202 件）があがった。女性は家庭事情に配慮があって協力しあえる職場環境を最優先に重視していることが分かる。「やりがいが感じられるから」（161 件）と「やってみたい職種だから」（160 件）、「自分のスキル・経験が活かせるから」（139 件）といった自己実現ややりがい、意欲は 2 の次となっている。また「初心者でもできるから」（103 件）と「マニュアルが整備されていて安心だから」（60 件）という消極的な理由は低い順位にとどまった。

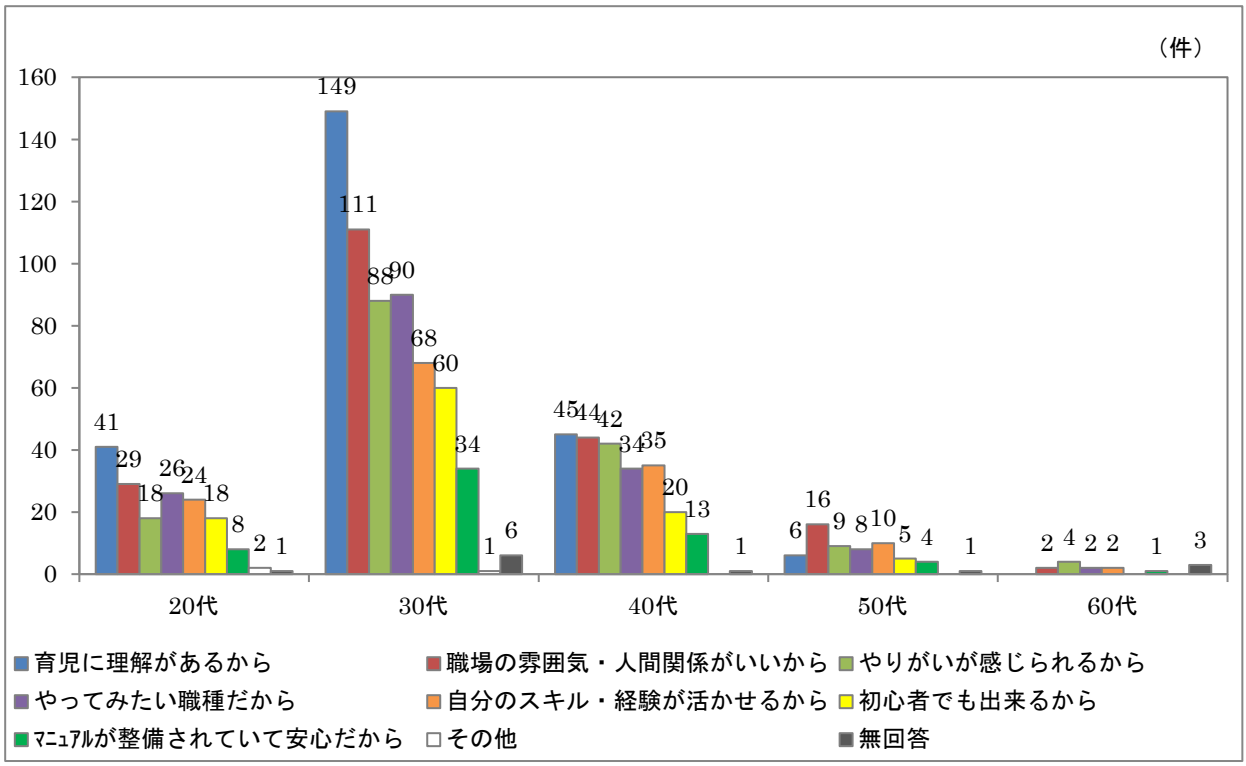
・年代別にみると、20 代と 30 代女性は「育児に理解があるから」と「職場の雰囲気・人間関係がいいから」がとくに多くなったが、40 代以降になる各理由の差が小さくなった。

・地域別にみると、北勢地域は「育児に理解があるから」という理由が他の地域に比べて多かった（133 件）。南勢地域は「やりがいが感じられるから」（30 件）と「自分のスキル・経験が活かせるから」（24 件）という意欲ややりがいが、「初心者でもできるから」（29 件）という消極的な理由と差があまりなかった。

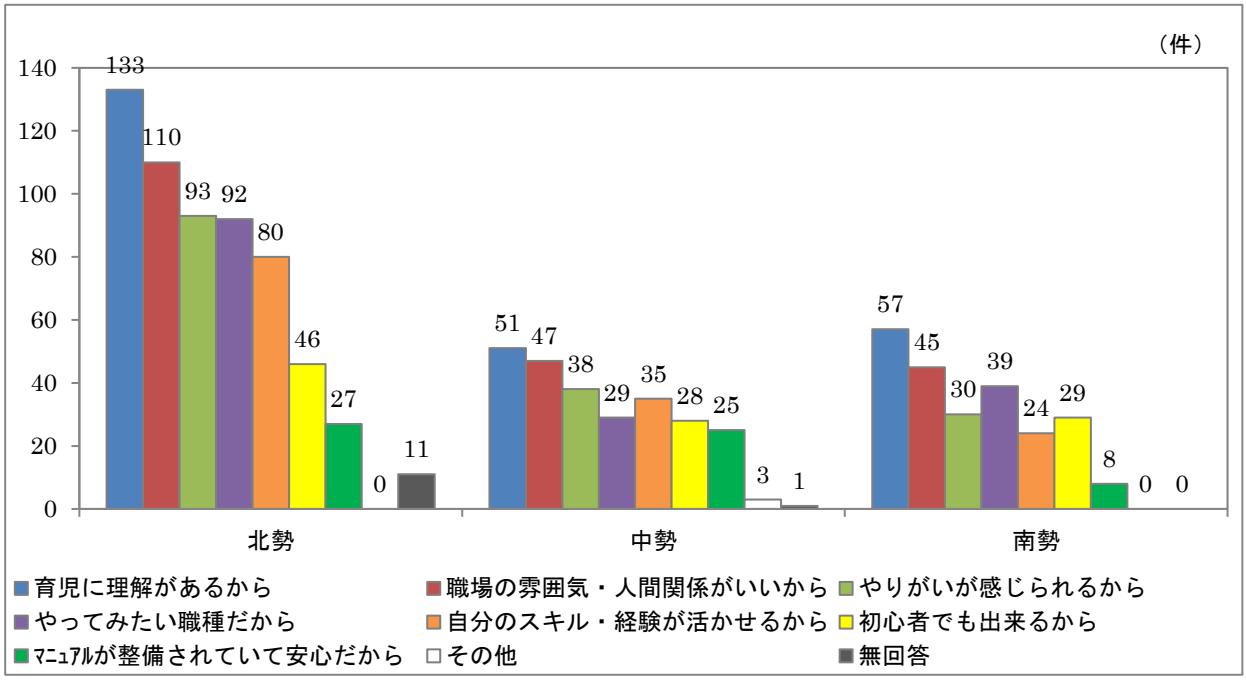
・末子年齢別にみると、3 歳以下の子をもつ母親は「育児に理解があるから」（158 件）と「職場の雰囲気・人間関係がいいから」（111 件）を理由にあげる件数が他の理由に比べて多くなったが、子どもの年齢があがるにつれて各理由の差が小さくなった。7～12 歳の子をもつ母親になると、「やりがいが感じられるから」が最も多い理由となった（20 件）。

・就労の有無別にみると、未就労の女性は「育児に理解があるから」を理由とする人がとても多かった（124 件）。現在就労中の女性は「やりがいが感じられるから」（93 件）と「やってみたい職種だから」（90 件）、「自分のスキル・経験が活かせるから」（83 件）といった自己実現ややりがい、意欲を理由とする人も多かった。

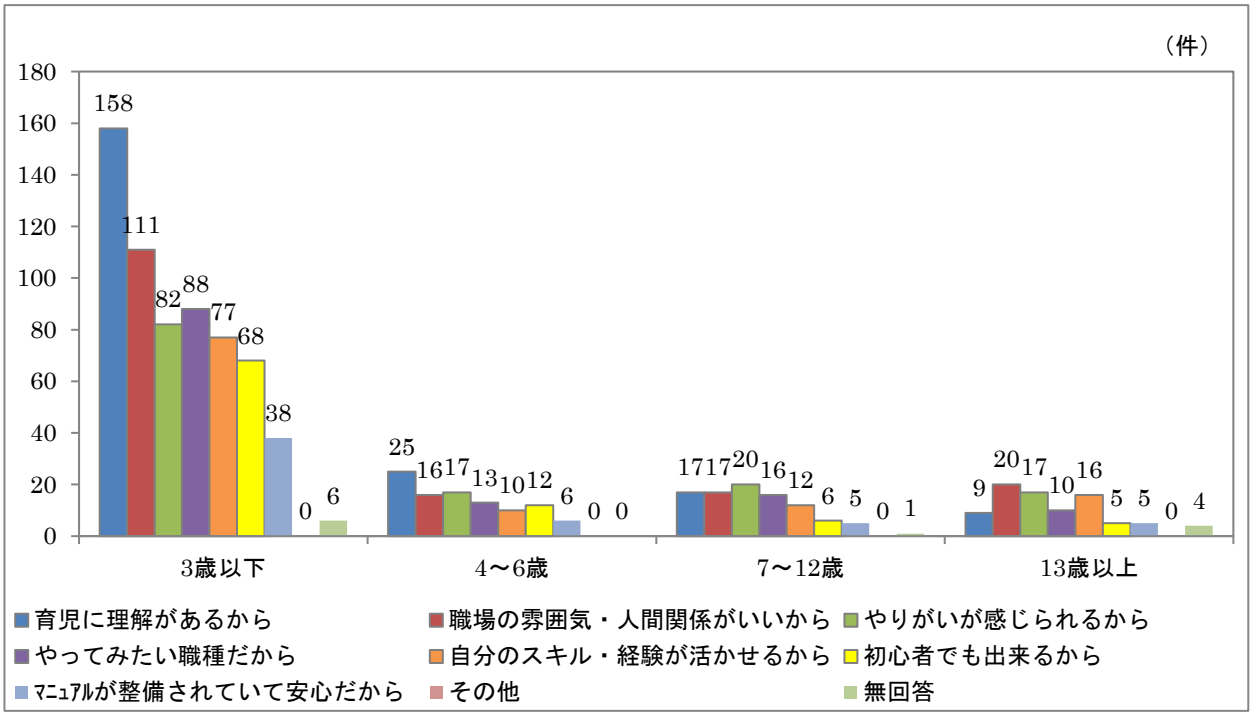
2）年代別（n＝381）



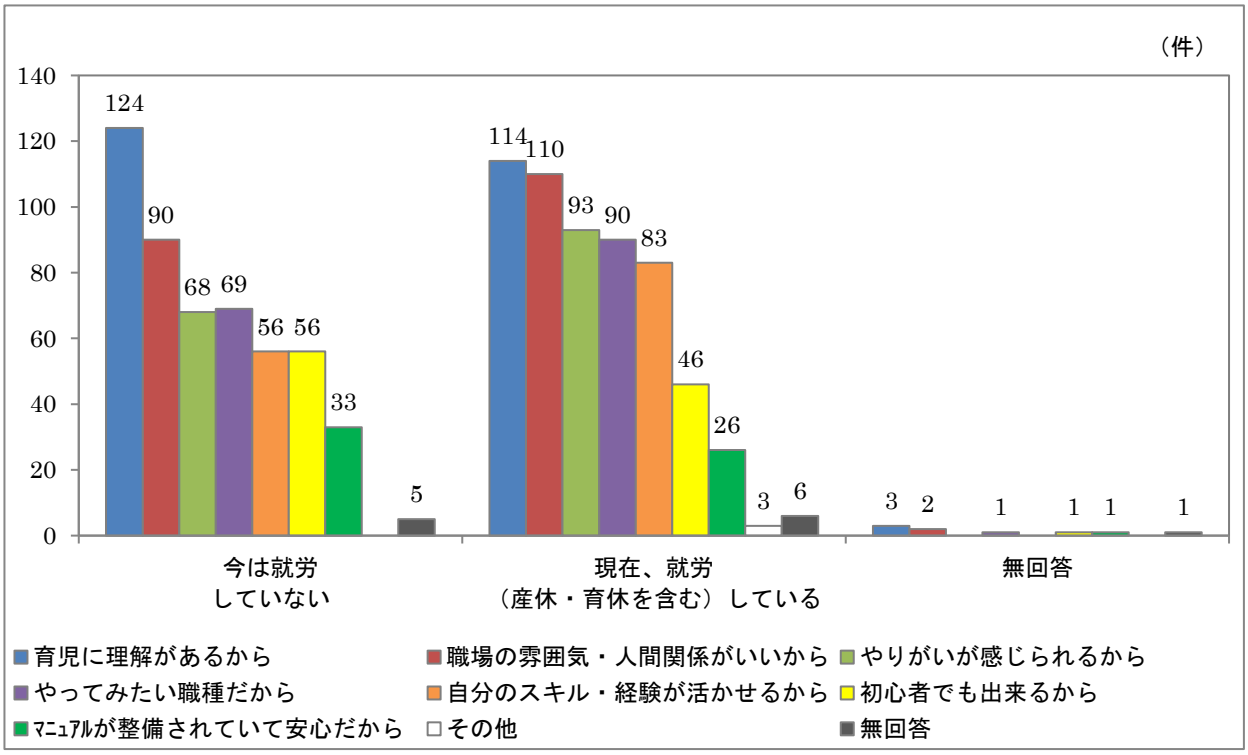
3）地域別（n＝381）



４）末子年齢別（n＝353）



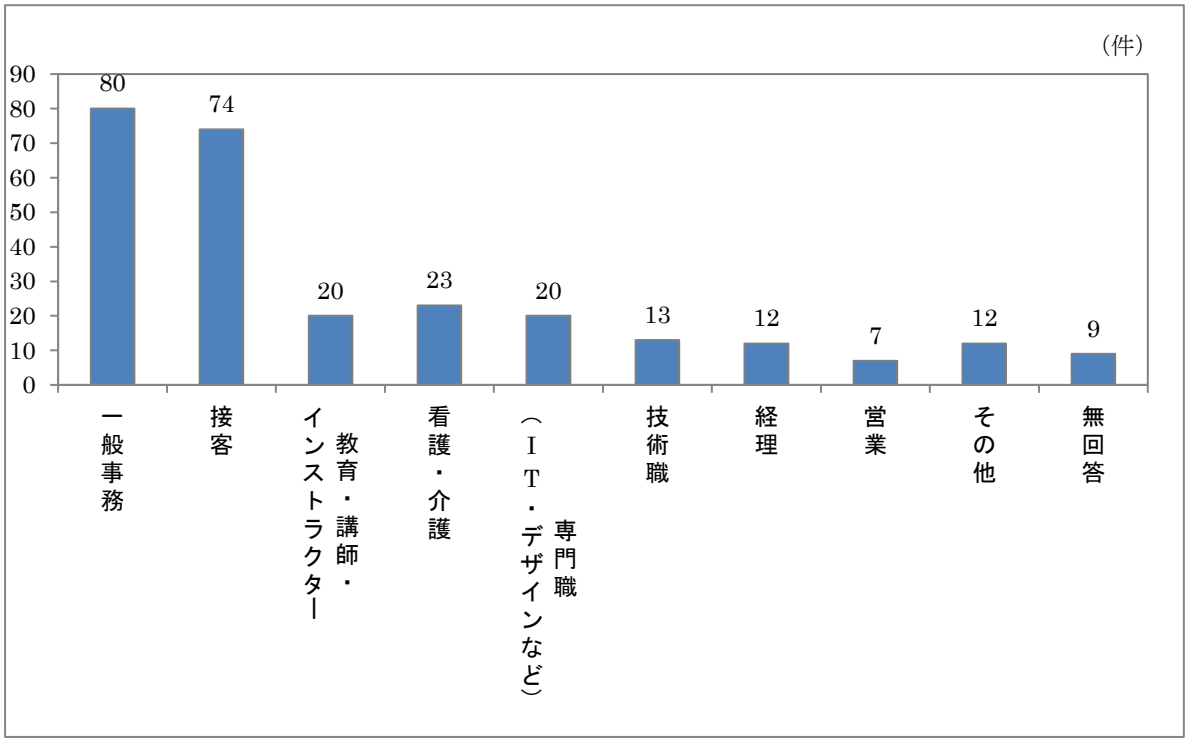
５）就労の有無別（n＝381）



Ⅳ．転職したい、または将来働きたい人への質問

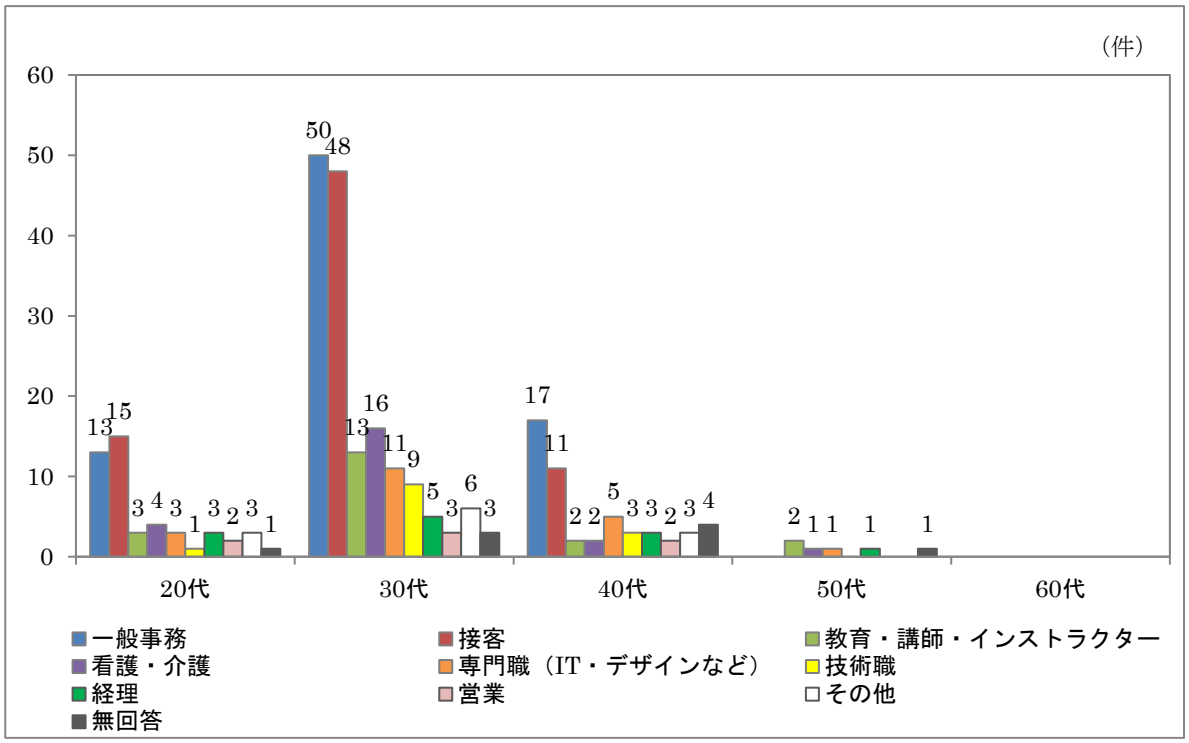
１．　あなたのスキルといえる職種（一番に思いつくもの、最もキャリアが長い、人に褒められるなど）は何ですか？※複数回答

１）全体（n＝270）

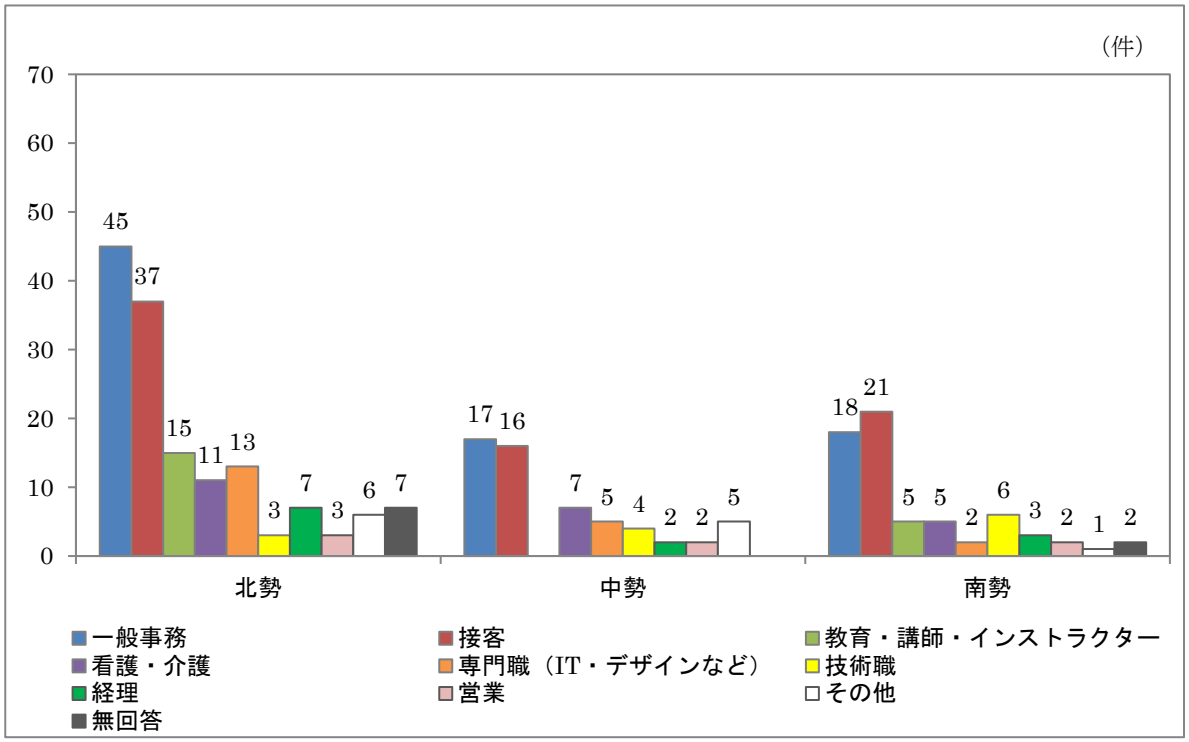


・女性の今まで培ったスキルで多かったのは「一般事務」（80 件）と「接客」（74 件）であった。各スキルの順位は、Ⅲ－４でみた希望職種と同じ結果となった。
・年代別にみると、20 代女性は「一般事務」と「接客」が圧倒的に多くなっている一方、30 代～50 代女性はこれら以外のスキルをあげる人が 20 代女性より多い。年齢を重ねた女性ほど多様なスキルを身につけていると見られる。
・地域別にみると、中勢地域と南勢地域は「一般事務」と「接客」をあげる女性が圧倒的に多いが、北勢地域はこれら以外のスキルをあげる女性が多くなっている。都市部ほど多様なスキルを身につけた女性が多いと言えるだろう。
・末子年齢別にみると、子どもの年齢に関わらず「一般事務」と「接客」が圧倒的に多いスキルだった。
・就労の有無別にみると、未就労の女性は「一般事務」と「接客」が圧倒的に多かった。一方、現在就労中の女性のスキルは「一般事務」と「接客」が上位 2 位となったものの、「教育・講師・インストラクター」や「看護・介護」、「専門職（IT・デザイン等）」などとの差が未就労の女性ほど大きくなかった。何らかの資格や専門的スキルをもった女性の方が、就労している可能性が高いと見られる。

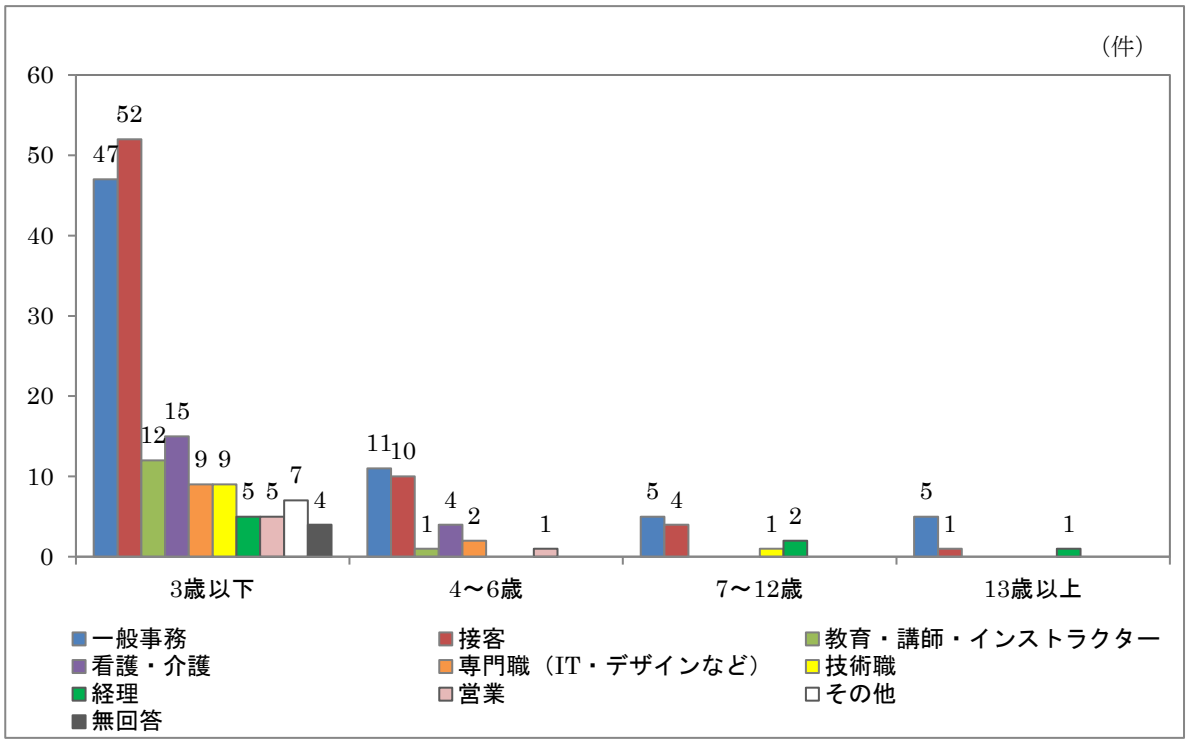
２）年代別（n＝270）



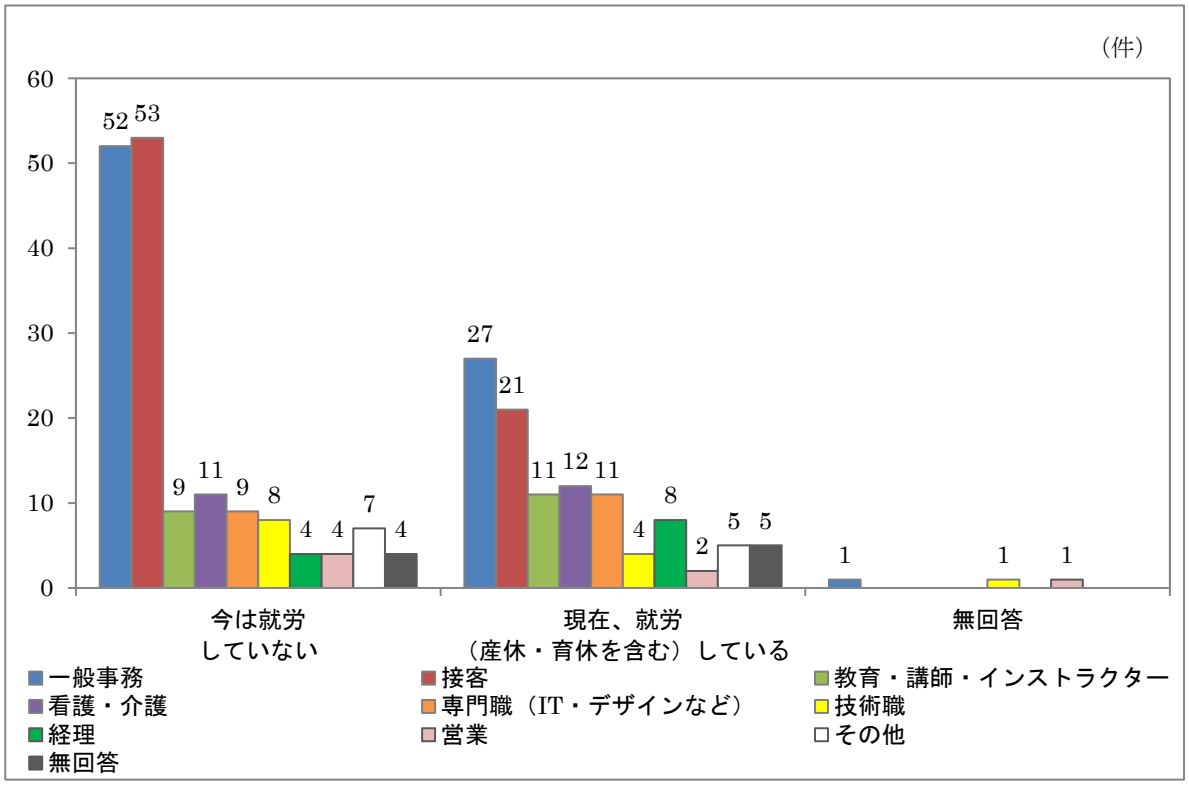
３）地域別（n＝270）



４）末子年齢別（n＝270）



５）就労の有無別（n＝270）



２．あなたのキャリアを簡単に教えてください。※自由回答

・cad オペ、dtp オペ
・IT 関連企業でプログラマー(13 年)
・PC インストラクター
・PR 館、司会、クッキー専門店、ネット販売
・アパレル
・アルバイトでは販売や本屋さんの棚卸しなどをしました。
・スポーツクラブで受付や水泳レッスン、マシーン案内などをしておりました。
・一般事務
・一般事務、PR アシスタント、プロジェクトアシスタント
・一般事務、営業アシスタント、営業
・一般事務、経理、労務
・一般事務、住宅設備ｼｮｰﾙｰﾑｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ
・医療事務
・飲食業のマネジメント
・飲食業、販売
・インテリアコーディネーター、家具の販売
・受付、調理接客
・営業
・栄養士
・エステティシャン
・教員
・音大卒後、講師演奏家
・介護職
・介護福祉士
・カメラマン、デザイナー
・看護師
・保健士
・看板のデザイン、営業
・着物の絵付け
・キャリアコンサルティング、講師
・教育子育て相談
・銀行、事務
・銀行受付
・銀行営業
・通訳、翻訳
・グラフィックデザイナー
・経理事務
・化粧品販売、コールセンター、事務
・研究開発職
・言語聴覚士
・現在は英語を使った業務
・建築関係の営業
・建築士
・工業用部品の開発
・高校教師
・作業療法士
・歯科衛生士
・歯科技工
・歯科助手、受付
・システムエンジニア
・集金、営業
・塾講師、お惣菜屋
・障がい者施設、老人施設、エステ
・障がい者就労継続支援
・小学校教員
・証券会社の事務、接客
・商社での営業アシスタント
・食育指導、経理
・食品加工
・鍼灸師
・新聞記者、営業
・生産管理
・製造ラインの仕事
・生保営業、配達
・総務経理事務、司書
・ソフトウェア開発、講師、hp 作成
・知的障がい者施設

・調理業務、観光販売
・調理師
・テキスタイルデザイン、事務
・テレビ局 AD→ウェディング映像編集
・天理教の普及活動
・動物病院の検査、フォークリフト、接客、調理補助
・特許事務所、図面作成
・バスガイド、工場勤務、コンビニ
・バスガイド、スターバックス、インターネットサポート
・パタンナー、婦人服販売、接客、web フーディング
・パティシエ
・美容師
・ヨガインストラクター
・品質管理、食品分析、研究、実験
・福祉用具相談員　医療事務
・フリーアナウンサー
・プログラマー、設計書作成、フリーランス web コーダー
・保育士
・保育セラピスト、心理カウンセラー、保育士
・貿易事務
・放射線技師
・薬剤師
・理学療法士
・旅館中居
・旅行会社ｶｳﾝﾀｰにて接客、手配
・医療事務
・営業企画、商品開発、DTP、マーケティング
・液晶端末の解析、評価
・映像の会社で制作部の管理事務
・イベント運営
・記者・編集者
・看護師
・機械、建築設計
・漁業
・リラクゼーションセラピスト
・結婚式場、写真撮影の補助
・情報処理業、データエントリー
・広告代理店 営業 9 年(育休取得期間含む)
・高校で介護福祉士の資格を取り、その後すぐに介護の仕事につき 10 年近く務め、デイサービスの主任を務めた経験もあります。
・子供服販売 ファミリー向けブランド服販売
・社会福祉士、管理者
・食品メーカーの企画
・貿易事務 5 年、英語教室講師 2 年、保育士 3 年。現在自宅で英語教室を運営。
・幼稚園と保育園と子育て支援センターで保育士として働いていました。

３．仕事をするうえで、不満点や障害になっていることを教えてください。※自由回答

・やってみたい内容の仕事はあるけれど、スキルや経験がないため、初心者でも大丈夫といわれても不安が残る。今回保育園の応募を行っていないので、預ける所がない(伊勢で就職する場合、実家をあてにしていたのですが、諸事情で難しくなりました…)。旦那が県内の転勤族で現在社宅在中のため、継続して働けるかわからない。
・人手不足で夜勤が多い。
・会議や研修、残業などでほとんど休みがない。
・①社会保険完備と記載された求人に応募し、正社員として採用をしていただいたのに関わらず、社会保険に入ってもらえなかった（パン製造の為、10 時間以上週 5 で働いていたのに）。
②職場の一部の女性に、いじめられた。（私にだけ、あたりがきつかったり、話しかけてもらえない、挨拶すらしてもらえない）。2 点が不満点としてありました。
・1 年契約なので不安定。
・W ワークが禁じられていること
・栄養士は長時間勤務と給与の低さで家庭とのバランスがとりにくい。
・尾鷲市周辺の賃金が安い。
・学童に入れない。
・ご主人が自営業で家事、育児の分担が難しい。
・ご主人が消防士で急な出勤が多い。
・子育てを第一で考えたい、習い事の送迎が難しい。
・子どもが小さい時は子育てに専念したいという思いがあることも理解してほしい。
・子供か小さいのでパートから始めたい。
・子どもが小さく病気や行事で休みをとらないといけない。
・子供が小さく余裕がない。
・子どもが病気の時休みがとりづらい。
・子供のことで急に休むことを会社がどう思っているのか?
・子どもの病気の時、子供の学校が休みの時働くのが難しい。
・仕事が決まっていないと保育園にあずけられない。
・自分の働き方を見直したいが上司の理解が得られるか。
・主人の転勤が多いため知り合いか少なく病気の時に預け先がない。
・職場に保育園や託児があるといいなと思う。
・接客以外未経験なので何ができるか心配。
・旦那が小学生になるまでは子供といて欲しい希望。
・近くに預け先がない、子供が小学校に入学したら預け先がない。
・土日がメインになるので子供を預けられない。
・保育士は仕事内容が大変なわりにお給料が少ない。
・やりがいが少ない 給与が少ない。

・育休明けではないので保育園入園の点数がない。転勤帯同なことを考慮してもらえない。近くに頼れる親戚や友人などもいないため、子供の体調で仕事を抜ける又は休むことがどうしても多くなる。
・家の近くに希望する勤務時間にあった会社がない。
・会社の人材育成のリソースが「若い男性」向けに割かれており、そもそも女性のキャリア形成について考慮されていない。そのため、女性は男性の補助的な業務につくことが多い。補助的な業務＝全体から見て優先度の低い業務になることが多いため、期限ぎりぎりの仕事が割り振られることも多く休みや勤務時間の調整もしづらい。
・求人が出ても、現在のキャリアを生かせられるか仕事かどうかが気になります。
・子どもが 3 才になるまでは時短勤務ができ夜勤や時差出勤も無いが、3 才の誕生日が過ぎれば、夜勤や時差勤務をしなければならない為、今の職場で正社員で働き続ける事が出来ない。
・子どもが小さいので、急な遅刻や早退、欠勤等、どうしても迷惑をかけてしまう事が多い。
・面接時に説明して理解してもらって採用してもらったはずなのに、後から文句を言われたりするので難しいなと思う。
・子どもがいない方にとっては、こちらが一方的に迷惑をかけるばかりなので、その文句も仕方の無いことかとは思いますが…。
・子どもが小さく、人数も多い為、短い時間しか働けず、子どもの風邪や行事などで休みを頂く事が多くなるため、今はパートでしか働けないでいます。
・子供が居るのでそれに理解がないこと。
・子供が病気の時などに急な休みを取れないこと。
・旦那が交代勤務の為、その時間に合わせるのが難しい。
・子供が幼稚園で帰りが早いので働くとしても短時間しか働けない。夏休みなど長期休暇のときの子供の預け先がない。
・キャリアアップしたいが、計画的な指導がなされていない。
・時給が低かったり、研修を受けるのに職場から補助が出なかったり、職場の会議で時給がつかなかったりすることがあり、収入面で不安があります。自分のスキルを生かそうとする企業は子育てに理解があまりないように感じる。育児制度が整っていても、上手く稼働してない。
・実家が遠方なので子供や私自身に何かあったとき簡単に頼れるところがないこと。
・土日休みでのパートが難しい、土地勘がないため通勤の便利不便が分かりにくい。
・ギリギリの人員でシフト組まれ、子供の急な発熱でも休めない。熱での保育園呼び出しはサポートできる親族があってこそ。いなければ、無理、、。
・仕事もハードなので、体力も精神面も疲れて、育児、家事がこなせないのと、周りに旦那以外、協力者がいない。
・夫が転勤族。やりがいを持って正職を続けてきたが、転勤帯同により止むを得ず退職。
・今後、家計のためにアルバイトやパートとして働くことを検討しているが、パート収入と子供の託児を天秤にかけると、積極的に働きに出るべきか大変悩ましい。
・平日はほぼ毎日勤務できても、子供の夏休みなど長期の休みの時に平日毎日勤務は難しい。
・保育料と自分の働きが似たり寄ったりであれば働く意味があるのかなと思ってしまう。

４．どんな会社や働き方があったら転職、または働いてみたいと思いますか？※自由回答

・育児の大変さに理解があり、突発に休みをいただいても積極的にフォローいただける会社。託児所つきの会社。時短制度で働き、経験を重ね将来的にフルタイムで働ける会社。
・1. 急な休みに対応して頂けるかどうか、2. 時短勤務が可能かどうか。
・U ターン就職したが三重県に選択肢が少ない、適切なタイミングで情報が欲しい。
・今、子供が寝ている夜だけの清掃の仕事に出ている。それでも気分転換になって楽しい。在宅できると尚嬉しい。
・家の近く、在宅、時間が自由。
・家や保育園近く、職場に託児所。
・生き生きと働く姿を子供に見せたい。
・育児との両立に理解、在宅の仕事。
・学校行事に対応してくれる。
・家庭の事情を理解していただける会社。
・急な子供の対応に理解のある会社。
・急な休みや早退に対応してくれる。
・興味が合ってやりがいを感じる。
・経営の安定、フレキシブルな働き方、キャリアが積める、仕事内容が興味がある。
・子育てに理解がある、時間の融通がきく。
・子育てに理解がある、休みやすい、時間内に帰れる。
・子育てママが多い職場。
・子どもがいることに理解がある会社、自分のスキルが活かせる会社。
・子どもの急な病気、長期休みの時に早退欠勤に理解のある会社。
・子供の託児や在宅ワーク。
・子供のために急な休みを取っても理解してくれる。
・子供の様子を見ながら働ける職場、病児保育。
・子供を持つ母親が働きやすい環境がある。
・在宅でできる、歳をとってもできる。
・時短で正社員であれば、託児有りの職場。
・時短、家庭事情に寛容。
・自分のスキルを正しく判断してくれてそれに見合った給与を出してくれる会社。
・社内託児や在宅勤務の仕事や会社 。
・社内に保育園あり。
・その時々にあった働き方を選択できる会社。
・託児、急な休み、パートから正社員登用。
・男女ともに家庭への配慮を考えてくれる会社。
・近くでパート勤務ののち子供が大きくなったら正規職員が理想。

・夏休みを一緒に過ごしたい、子供の成長をみたい。
・パートタイムから初めて将来正社員になりたい。
・働くママがたくさんいて働きやすい会社があるといいです。
・やれるなら保育の仕事がしたいが、今はやりたい仕事よりも家庭が大事だと思っている。仕事の労働条件が合えば、どんな仕事でもいいのでお金のために働きたい。
・ワークライフバランスのとれた企業で、後ろめたさを感じず働きたい。「これだから女は」と言われたことが多いのでそんなことを言う人のいない会社。
・育児との両立を応援してくれるような会社や働き方があれば、未経験の仕事でも挑戦したい。
・家の近くで、子供が風邪をひいた時に休める会社があれば働きたい。
・子供の成長とともに働く体制を変化できる仕事。
・急な遅刻や早退、欠勤等にも『お互いさま』と快く対応してくれる会社です。助け合って仕事をしていけるのが理想です。シフトをカツカツで回してる会社では厳しいと思います。
・今の家庭の状況を理解してもらい、気軽に休める会社。
・今は子どもも小さく、限られた時間しか働けないため、パートでしか働けませんが、大きくなれば正社員で働きたいので、正社員になっても家事育児も両立出来るような、残業や、夜間早朝などが勤務が無い会社があれば、働きたいです。
・在宅でできる仕事または働く時間を自由に決めることができる会社。
・その時にあった働き方を自由に選べる企業。
・子どもが小さい間は、日曜日は休みたい。残業が無く定時で帰る事ができる。(17 時くらい)。休みの希望が聞き入れてもらえる。人間関係が良い。
・子どもが風邪をひいたり、子どもの行事と勤務先の行事がかぶったり、残業が長引いたりというようなときにみんなで助け合えたり、子育てを助け合える会社があれば是非働かせていただきたいです。
・子どものことで急な休みなどいただくことなどが出てくると思うけど、それだけで判断せず日頃の仕事に対する意欲や態度で見てもらえるような会社。
・子育てに理解ある働き方、例えば子供が病気で何日も休まなければいけない時や急な子供の行事に融通がきけば働きやすい。
・子育て世代に寛容で、急な休みでも仕事に差し支えない、人員が間に合う、というところ！！
・子供を持つ女性に、又は持たない女性にも理解がある。子供を持つ女性の穴埋めや補填を子供を持たない女性に押し付けない、全体的に前向きに色々な人の事情を考慮してフォローしてくれる上司がいること、そういった社風のある会社。
・熱を出した場合や何かあった場合に早退したり休んでも嫌な顔をされない等。
・事業所内託児があり、保育所よりも安く利用ができる会社。
・働きながら資格取得のサポートをしてくれる。
・女性のキャリア形成に対しても理解がある企業。
・自分の裁量で業務を進めることができる(働く時間、休みを調整できる)企業。
・職場内の雰囲気・環境はとても大切だと思います。人間同士は、合う合わないが必ず出てくるとは思いますが、働きやすい＝コミュケーションが取りやすかったり助け合いの気持ちが大切ではないかと

今までの経験から考えます。上に立つ役職者は仕事だけできる人ではなくその辺も気をつけて見れる人の下で働きたいです。

・託児があったり最悪の場合在宅で出来たり、どうしようもない時子供を会社に連れて行けたらいいです。

・短期労働(転勤族)でも歓迎してもらえる会社があるか。これから、妊娠、出産の可能性のある女性を積極的に登用してくれる会社があるか。また、子どもを育てながら働ける託児所付きの職場があれば安心して働けると思う。

・乳児の同伴勤務ができる会社。

・妊活に理解があり、長く働ける職場。

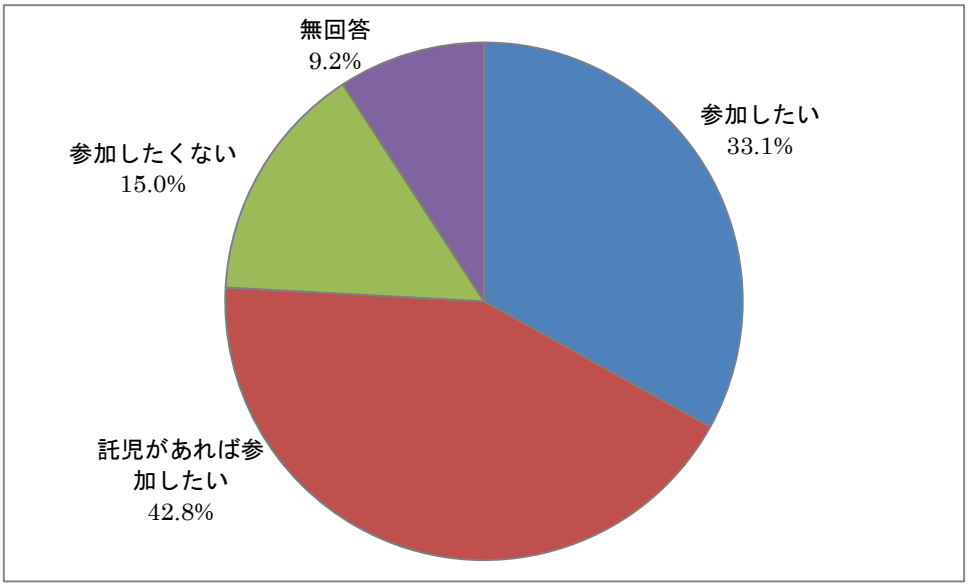
・普段の平日は毎日勤務しても、夏休みなどは勤務日数を減らして働けるようなところ。子供の体調を崩した時など休ませてもらいたい。

・明るく、社員や会社が良くなるようにと意識ある組織。

Ⅴ．ママハタみえへの要望

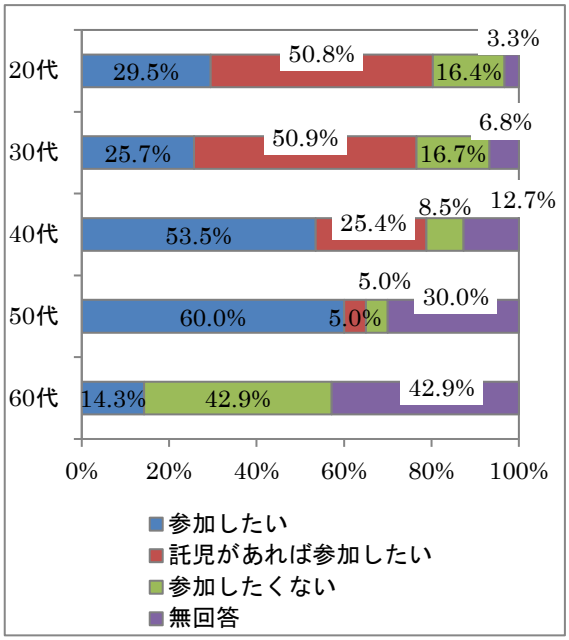
１．女性向けお仕事セミナーがあったら参加したいですか？

１）全体（n＝381）

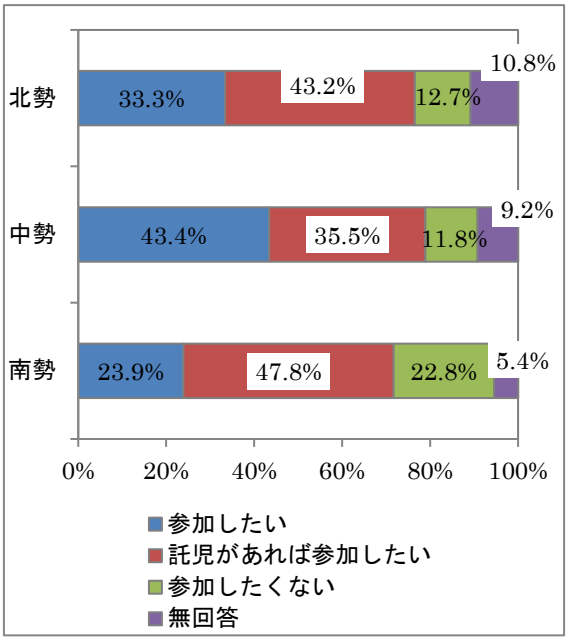


・女性全体のセミナー参加意向は「参加したい」（33.1%）と「託児があれば参加したい」（42.8%）を合わせると、7 割以上の女性に参加意欲があった。
・年代別にみると、「参加したい」と「託児があれば参加したい」を合計した割合は 20 代が 80.3%と最も高く、30 代が 76.6%、40 代が 78.9%、50 代が 65%、60 代が 14.3%と年代があがるにつれて参加意欲が下がった。
・地域別にみると、「参加したい」と「託児があれば参加したい」を合計した割合は中勢地域が 78.9%と最も高く、南勢地域が 71.7%と最も低かった。
・末子年齢別にみると、「参加したい」と「託児があれば参加したい」を合計した割合は 4～6 歳の子をもつ母親（91.2%）、つぎに 7～12 歳の子をもつ母親（77.4%）、3 歳以下の子をもつ母親（74.4%）、13 歳以上の子をもつ母親（63.3%）の順に高かった。末子が幼稚園入園している母親の参加意欲が最も高く、中学生以上の子をもつ母親の参加意欲が最も低かった。
・就労の有無別にみると、「参加したい」と「託児があれば参加したい」を合計した割合は未就労の女性が 80.1%、就労中の女性が 72.5%とやや未就労の女性の参加意欲が高かった。また「託児があれば参加したい」と回答した割合は、未就労の女性が 53.8%、就労中の女性が 33.3%と就労の有無によって託児の希望に大きな差があった。

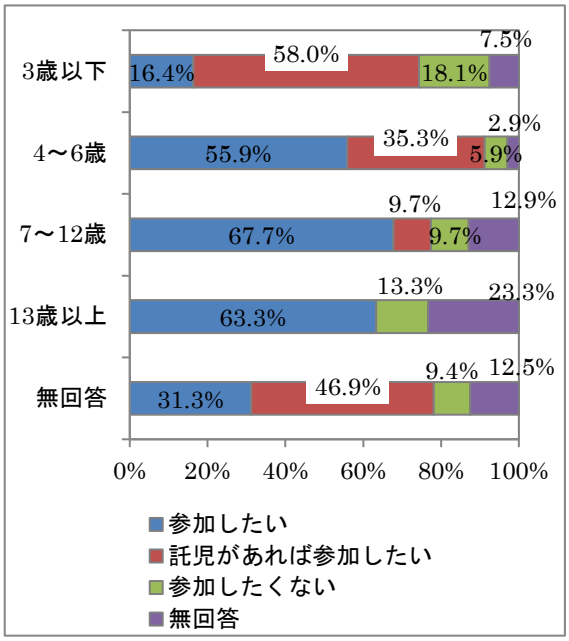
２）年代別（n＝381）



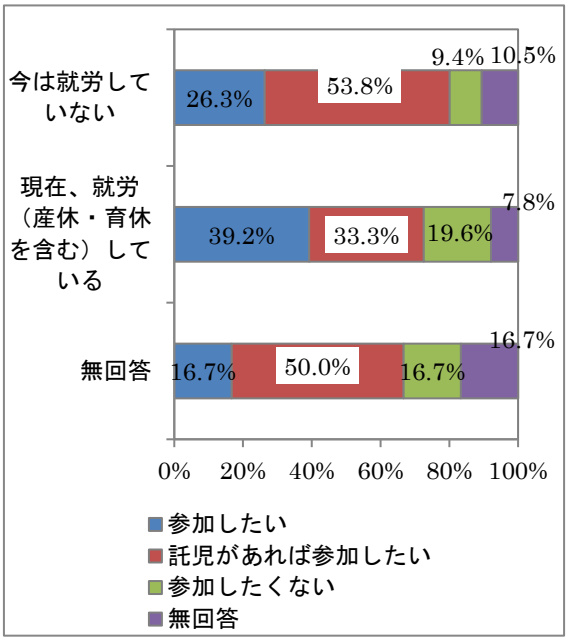
３）地域別（n＝381）



４）末子年齢別（n＝353）

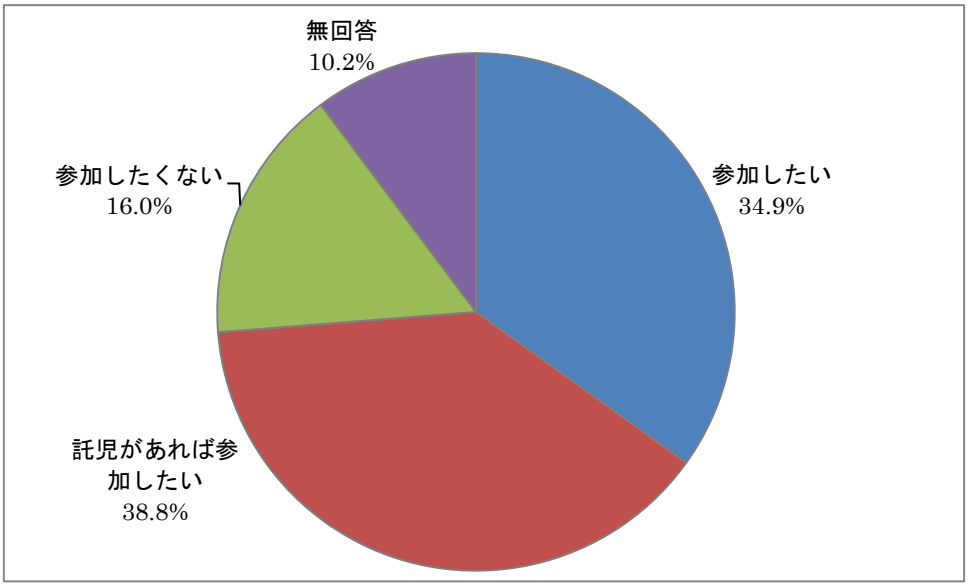


５）就労の有無別（n＝381）



２．女性向けのワンコインでできるキャリアップ講座があったら参加したいですか？

１）全体（n＝381）



・女性全体でみた有料のキャリアアップ講座への参加意欲は「参加したい」（34.9%）と「託児があれば参加したい」（38.8%）を合わせると、7 割強の女性に参加意欲があった。

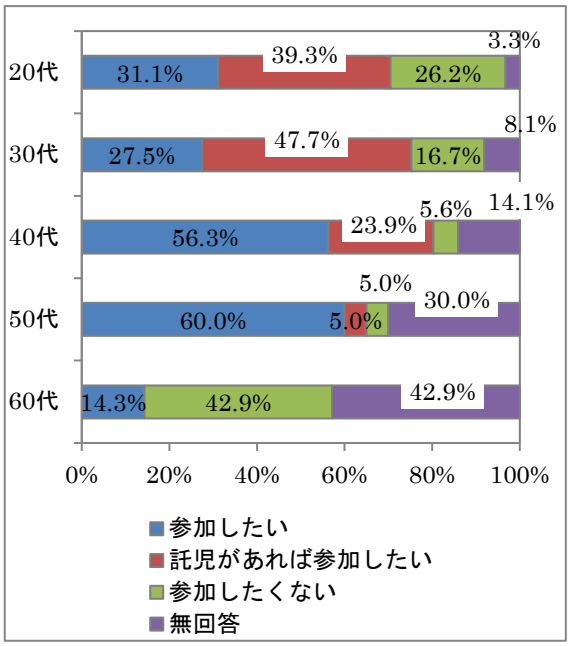
・年代別にみると、「参加したい」と「託児があれば参加したい」を合計した割合は 40 代（80.2%）をピークに、30 代（75.2%）、20 代（70.4%）、50 代（65%）の順に高く、60 代（14.3%）が最も低かった。

・地域別にみると、「参加したい」と「託児があれば参加したい」を合計した割合は北勢地域が最も高く（75.6%）、中勢地域が 69.7%と最も低かった。

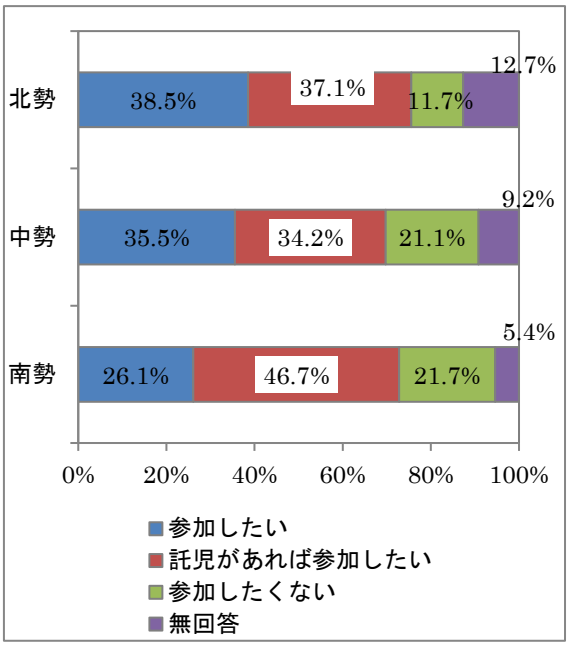
・末子年齢別にみると、「参加したい」と「託児があれば参加したい」を合計した割合は 4～6 歳の子をもつ母親（85.3%）、つぎに 3 歳以下の子をもつ母親（74.3%）、7～12 歳の子をもつ母親（71%）、13 歳以上の子をもつ母親（66.7%）の順に高かった。末子が幼稚園入園している母親の参加意欲が最も高く、中学生以上の子をもつ母親の参加意欲が最も低かった。

・就労の有無別にみると、「参加したい」と「託児があれば参加したい」を合計した割合は未就労の女性が 76.1%、就労中の女性が 72.1%とやや未就労の女性の参加意欲が高かった。また「託児があれば参加したい」と回答した割合は、未就労の女性が 48%、就労中の女性が 30.9%と就労の有無によって託児の希望に大きな差があった。

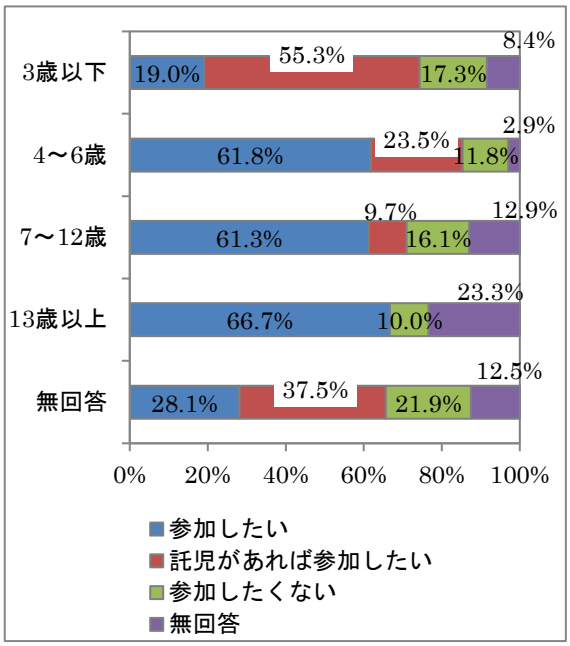
２）年代別（n＝381）



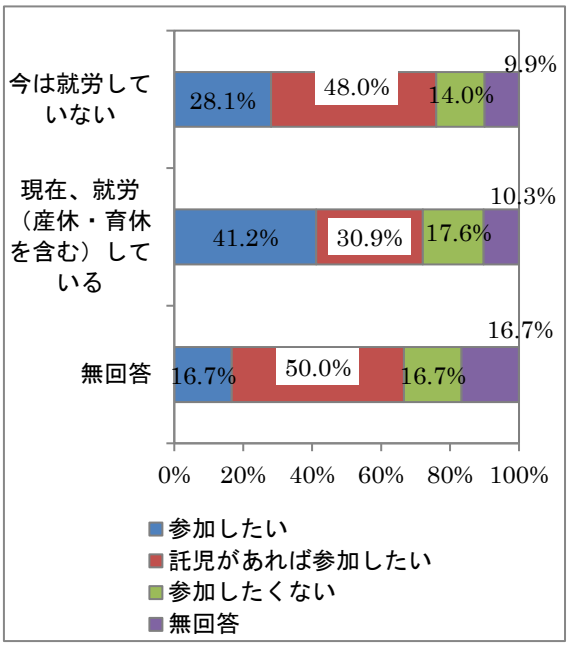
３）地域別（n＝381）



４）末子年齢別（n＝353）

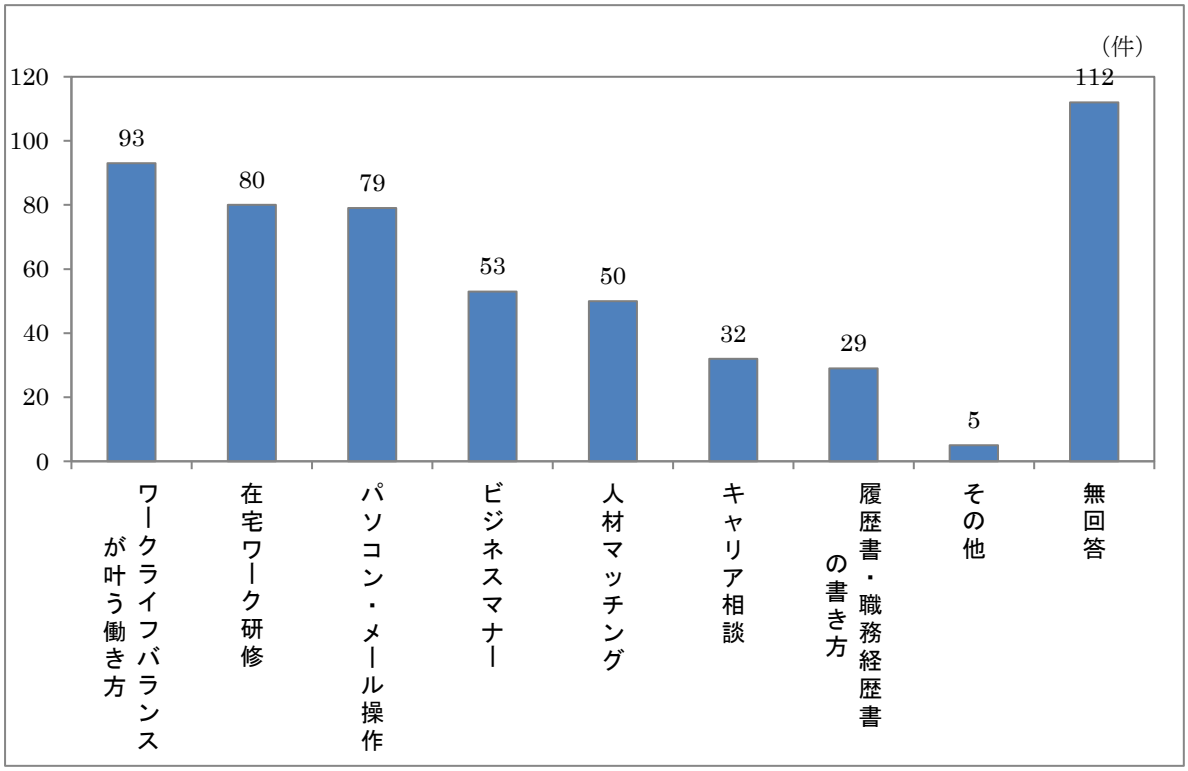


５）就労の有無別（n＝381）



３．今後、ママハタみえで企画してほしいセミナーや講座、ご相談はありますか？※複数回答

１）全体（n＝381）



・女性全体でみたママハタみえで企画してほしい内容は「ワークライフバランスが叶う働き方」（93件）が最も多く、女性たちが働くうえで家庭と仕事の両立が最優先課題であることが分かる。つぎに多かった「在宅ワーク研修」（80 件）は、家庭と両立する新しい働き方として関心が高くなったとみられる。また「パソコン・メール操作」（79 件）や「ビジネスマナー」（53 件）といった基本的なビジネススキルの習得ニーズも高かった。「人材マッチング」や「キャリア相談」のニーズは低かったが、再就職・転職のためには重要な要素であり、ニーズが高い家庭との両立支援をからめていくことが重要かと思われる。

・年代別にみると、「パソコン・メール操作」のニーズが 50 代女性に最も高く、30 代と 40 代女性には 2 番目に高かった。

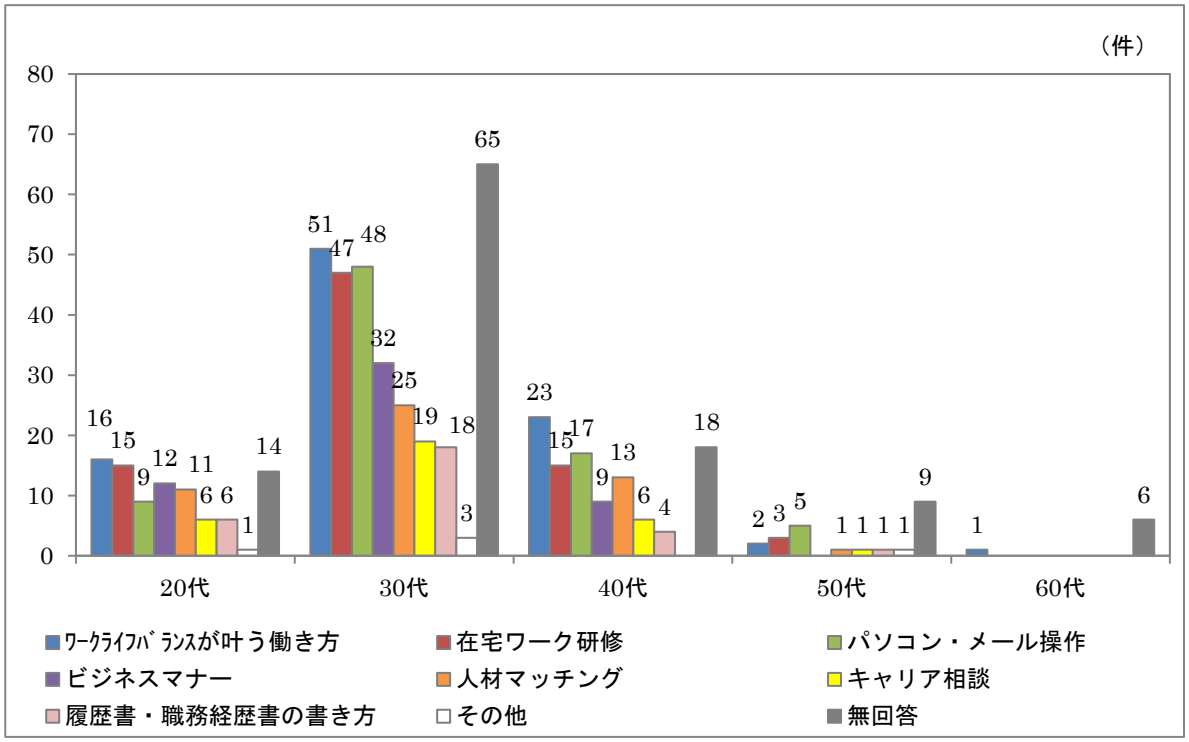
・地域別にみると、地域によって求める企画内容の順位にバラつきが見られた。中勢地域は「パソコン・メール操作」（19 件）のニーズが「ワークライフバランスが叶う働き方」（21 件）につづいて 2 番目に高かった。南勢地域は「在宅ワーク研修」が最も高く（21 件）、つぎに「パソコン・メール操作」が高かった（19 件）。また北勢地域は女性全体のアンケート結果と同じ順番となった。

・末子年齢別にみると、3 歳以下の子をもつ母親は女性全体のアンケート結果とほぼ同じ順番となったが、その他の母親は子どもの年齢によって求める企画内容の順位にバラつきが見られた。

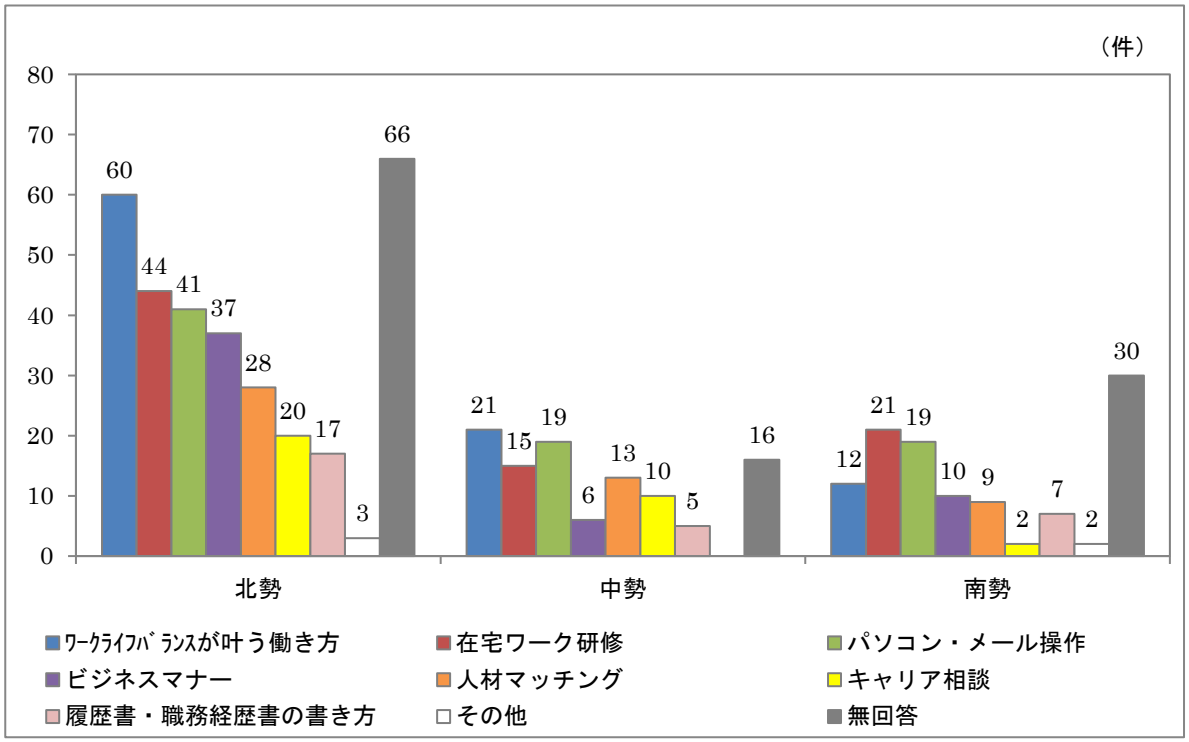
・就労の有無別にみると、未就労の女性は「在宅ワーク研修」が最も高く（49 件）、家庭を優先したい傾向が伺える。また就労中の女性では「ワークライフバランスが叶う働き方」（48 件）のつぎに

「パソコン・メール操作」（47 件）と「ビジネスマナー」（36 件）のニーズが高く、就労前に基本スキルの習得支援があると再就職・転職がスムーズにいくと期待される。

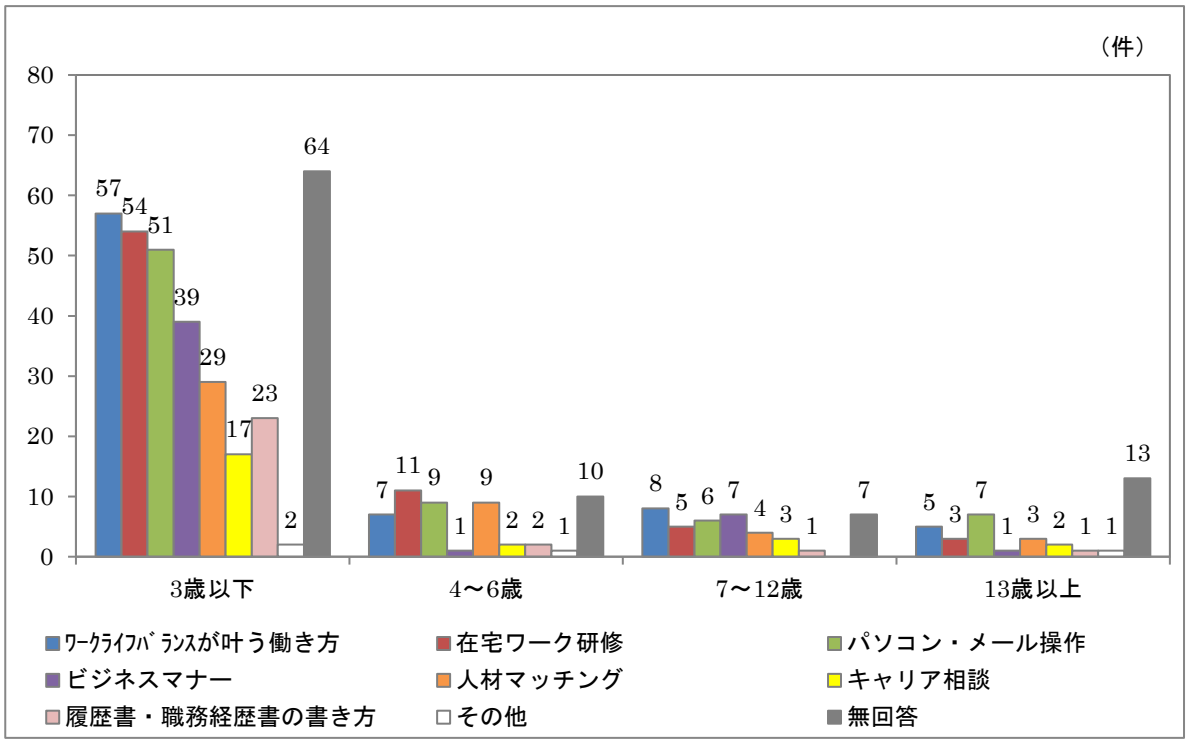
２）年代別（n＝381）



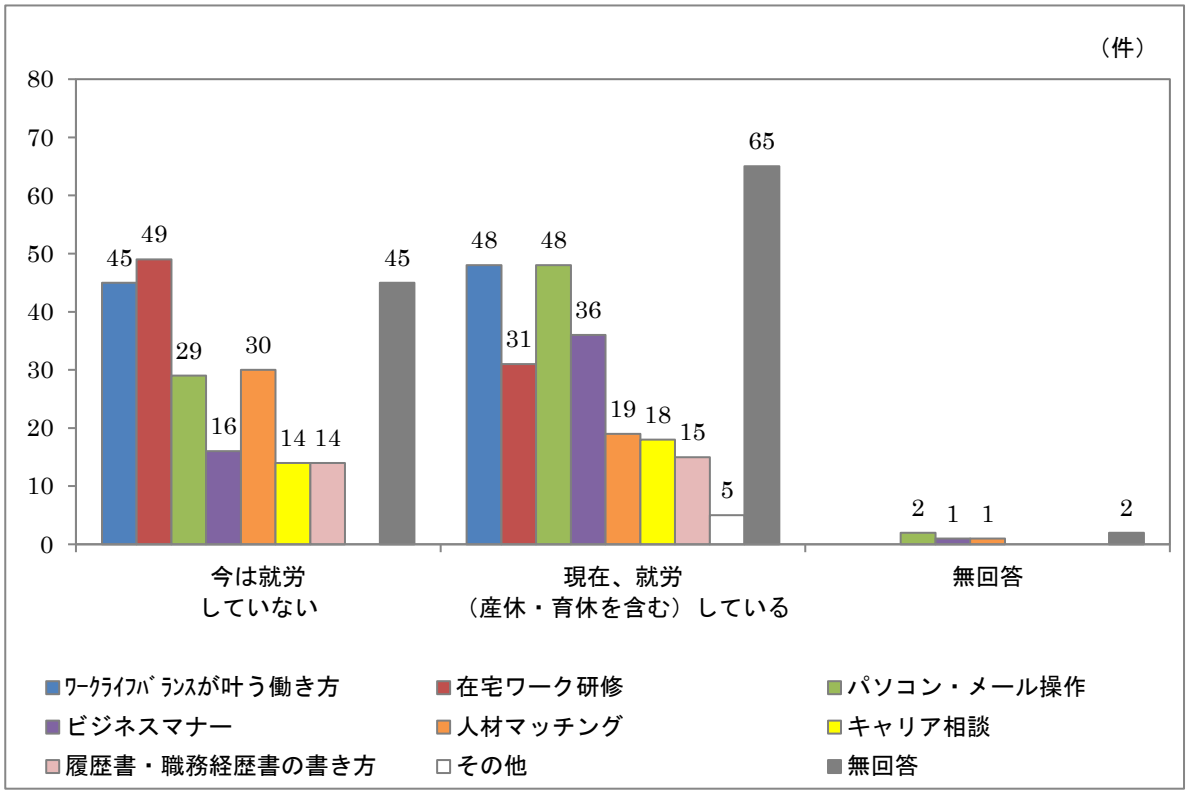
３）地域別（n＝381）



4）末子年齢別（n＝353）



5）就労の有無別（n＝381）



Ⅵ. まとめ

正社員で働くより、パートで働きたい女性が多い

女性は正社員でフルタイム勤務よりも、短時間勤務もしくはパート勤務希望が大多数を占めた。その場合「夏休み」がネックとなり、就職先が見つからない場合が多いという声が多かった。

三重県の地域によって女性の「意識」に大きな違いがある

北勢・中勢地域は子どもが小さいうちは働かない、またはパート程度で働きたいと考えている傾向が強い。また、転勤族の妻の方が多く、正社員での就職は難しいという声が多く聞かれた。
一方、南勢地域は働きたい意識が強いが、働く企業が限定されているなどの問題が見られた。

就職相談よりも「家庭と仕事を両立する」相談が予想以上に多かった

家事や育児と仕事との両立ができるか？の心配が大きく、仕事を探す前の段階で止まっている人が多かった（実際に求人情報を探していない人も多い）。
それは、近くに働いている女性のロールモデルが少なく、どのように両立すればいいのか、どれくらい働けるのか相談できる人がいないことも一因と見られる。

働きたい意思はあるが、希望の保育園へ入園できず断念している

津市や鈴鹿市、四日市市、桑名市など北勢地域に同様な声が多く聞かれた。家から遠く離れた保育園には定員に空きがあるが、そこまで送り迎えして会社へ行くのは現実的ではないという声もあった。実際、育休から復帰するときにも、保育園に入れず育休を伸ばしている人も見られた。

自分の「キャリアを積む」という考え方で仕事を探している人が少ない

世代的に「キャリア教育」を受けていない世代ということもあると思われるが、短期的な視点で家庭や子どもを優先した職業選びをしているため、長期で務めたとしてもキャリアアップできていない状況にある。

年代によって働きたい意欲に差がある

働く意欲やスキルアップ意欲が高いのは 20～40 代女性で、とくに 20 代女性は勤務時間が長くて収入が高い方がいいと思う傾向が強く、生活収入が就労する最大の理由となっている。また 30～40 代女性は短時間勤務で家庭と両立したいという意識が強く、慎重で保守的な傾向にある。一方、50 代以降になると働く意欲は急減する。各年代によって欲している情報や相談内容が違うことも考慮に入れる必要がある。

「働きたいけど働けない」と二の足をふむ女性には理解と支援が必要

「家庭と仕事を両立したいけど、経済的には今のままでも困らないし一歩踏み出せない…」と慎重になっている女性にとって、全く職場環境の分からない企業でいきなり長時間労働することはハードルが高い。とくに現在、未就労の女性は家庭と両立できる環境が整っていないため 1 日 3 時間程度のパートで始めてみて徐々に仕事のウェイトを増やしていく方が現実的である。また、企業の職場環境やどのような支援があるか（同じ子育て仲間がいる、教育がある、勤務条件に融通がきくなど）といった情報が不足しているので家庭と両立できるかどうか自信が持てず、就職活動そのものを諦めるといった悪循環に陥っている。

子どもの年齢によって働き方を見直したい

子どもの成長に合わせてその時々にあった働き方を選択したいという声も多く聞かれた。
末子が低年齢なほど収入は低くても自宅や保育園に近く、家庭と両立しやすい職場を望む傾向が強く、年齢が上がるにつれて通勤距離が離れても収入が高く、やりがいやスキルを活かせる職種を望む傾向が見られた。

関心が高かった「在宅ワーク」という働き方

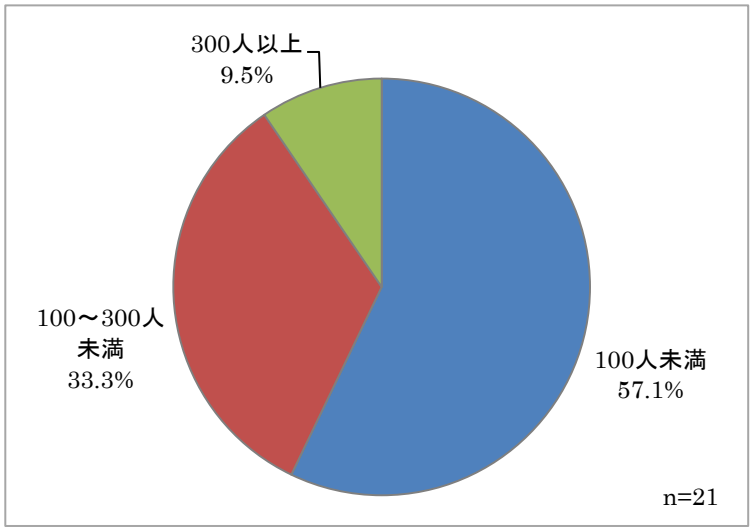
在宅ワークは「子どもの成長を見ながら保育園・幼稚園の近くで、その時々にあった働き方を選択しながら家庭と両立したい」という大多数の女性のニーズにマッチする働き方として、非常に関心が高くなったと見られる。ただ、在宅ワークで何ができるのか？どうしたらできるのか？など不明な点も多く、イメージが先行している部分が大きいため、在宅ワークの斡旋とスキルアップや意識啓発を行う機関が必要。

応援企業アンケート編

■　ママハタみえ応援企業アンケート結果概要

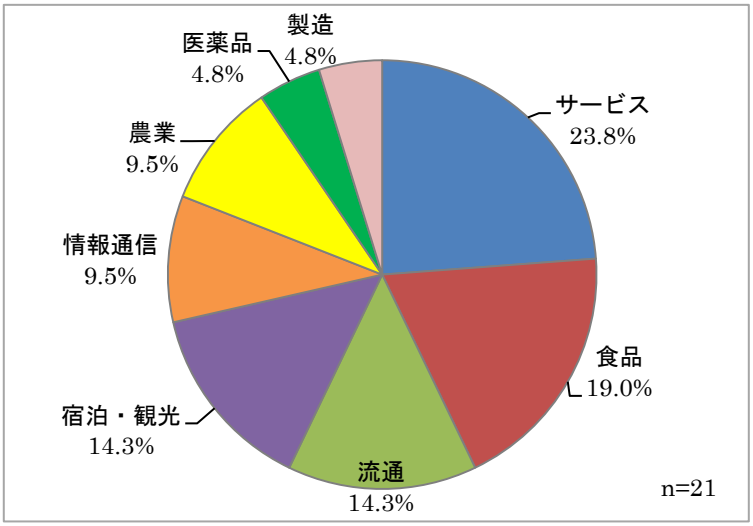
三重県北勢・中勢・南勢の各地域から女性が働きやすい企業を 7 社ずつ「ママハタみえ応援企業」として選定し（合計 21 社）、女性従業員の労働時間や出産経験、子育てとの両立支援制度の導入状況などについてアンケートを実施した。
まず応援企業では企業規模に関係なく女性従業員比率が全て 30%超と高く、必然的に短時間勤務や雇用転換を導入・実施しているケースが高いことが分かった。また、応援企業ではパート志向よりもフルタイム志向の女性従業員の方が多かった。さらに女性の活躍を期待する職種も固定的ではなく、企画から営業、技術まで幅広く能力が期待されており、それが従業員のヤル気にもつながっているのではないかと推測される。

１）従業員規模



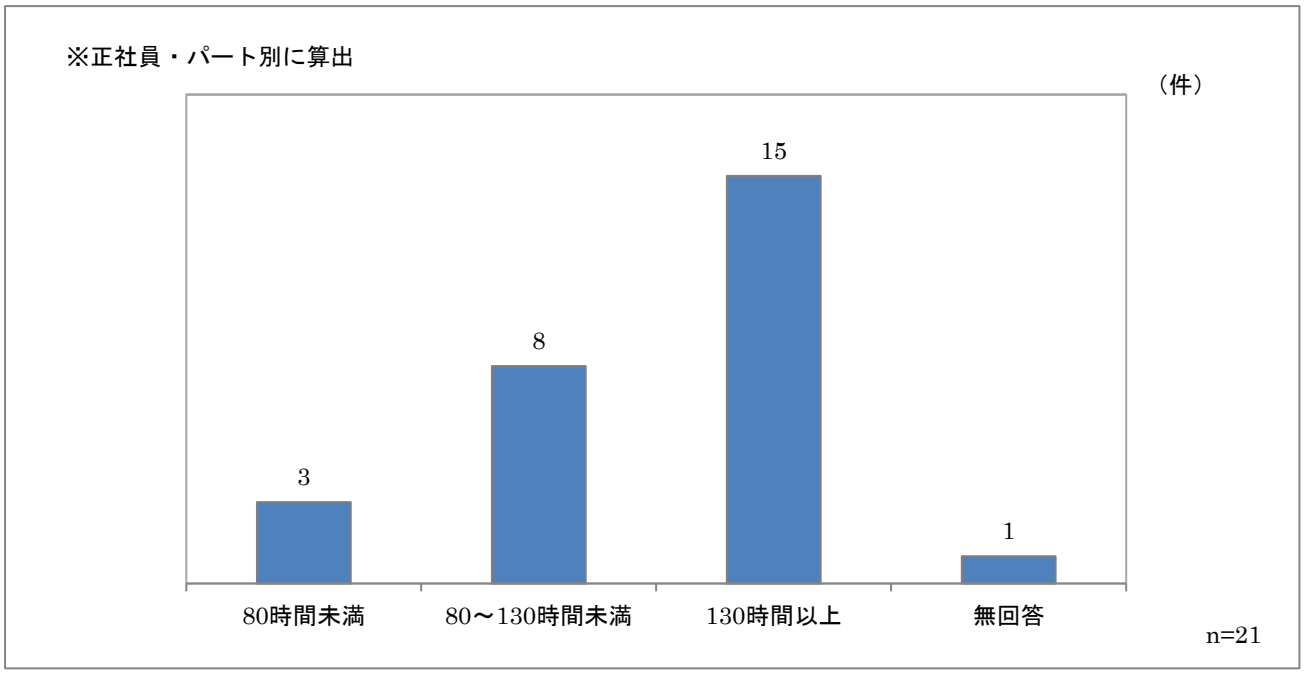
応援企業の従業員規模は、100 人未満が最も多く（57.1%）、つぎに 100～300 人未満（33.3%）、300 人以上が 9.5%と最も少なかった。
従業員数 300 人未満の中小企業が全体の約 9 割を占め、300 人以上の大企業は 1 割であった。

２）業種



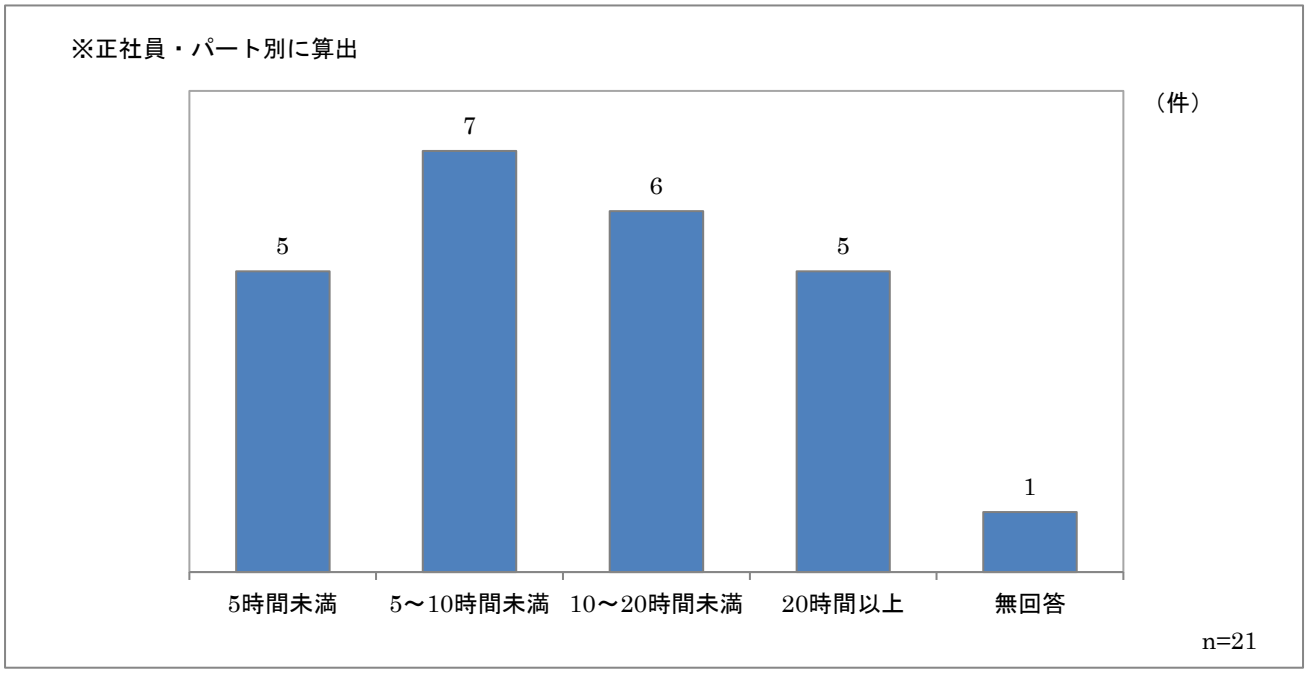
応援企業の業種は、サービス業が最も多く（23.8%）、つぎに食品業（19%）、流通業と宿泊・観光業（ともに同じ 14.3%）が上位を占めた。また、サービス業の企業には伊勢や鳥羽といった観光地の飲食店や土産物店が多く含まれていることから、宿泊・観光業と近似している。
一方、製造業や医薬品業、農業といった第一次・第二次産業の業種が少なかった。

３）女性従業員の一か月当り平均労働時間　※複数回答



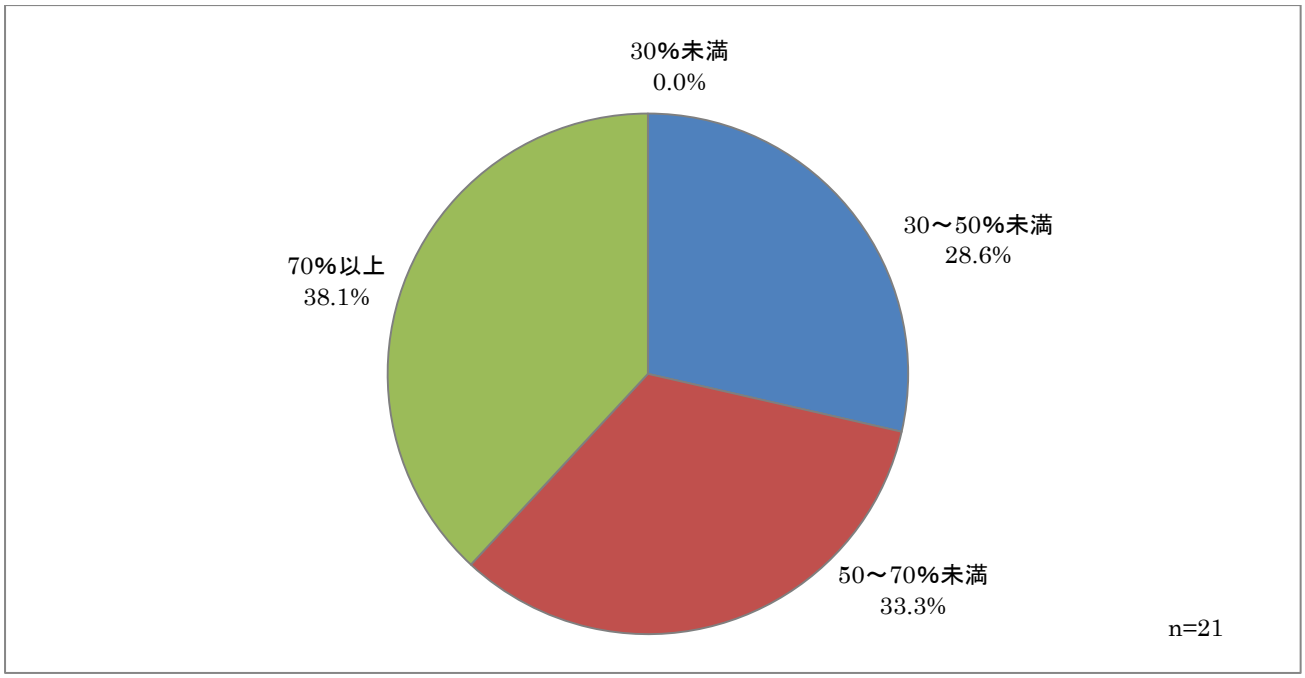
応援企業 21 社のうち、月 130 時間以上働く女性がいる企業は 15 件にのぼった。応援企業には正社員またはフルタイムで活躍する女性が多いと見られる。また、短時間勤務やパートで働いているとみられる女性は「80～130 時間未満」が 8 件、「80 時間未満」が 3 件となった。

４）女性従業員の一か月当り平均残業時間　※複数回答



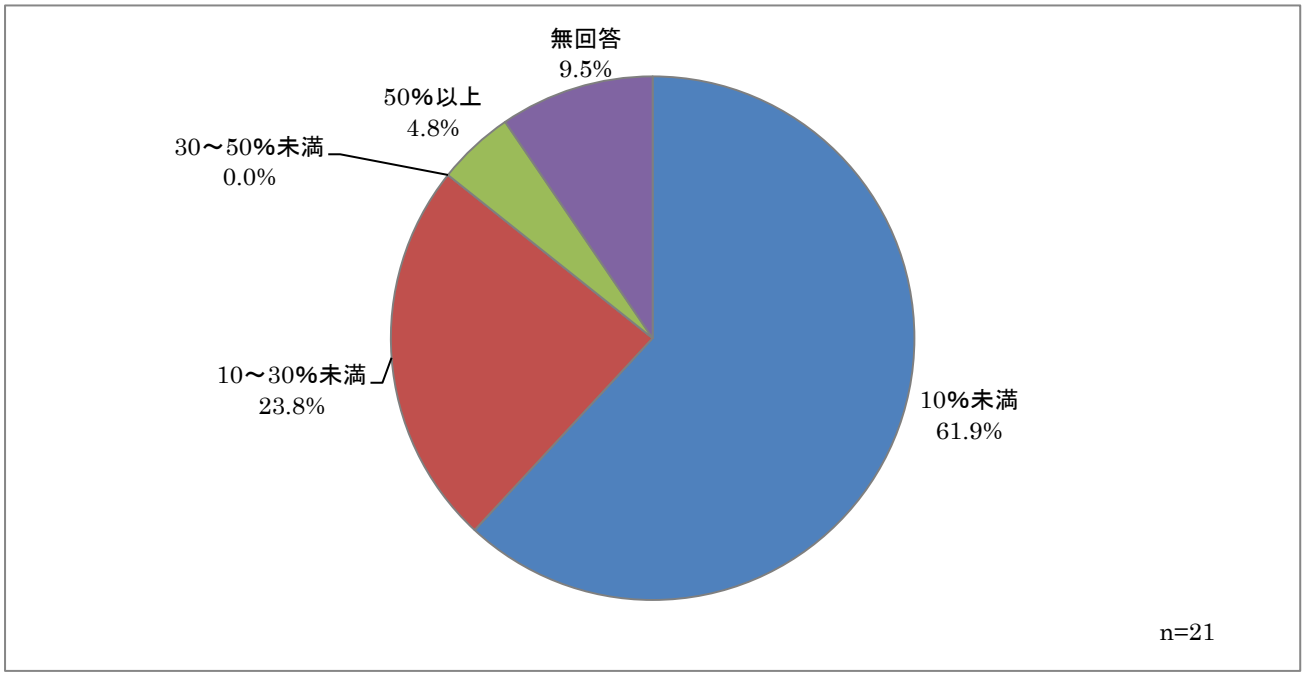
一か月当りの平均残業時間は「5～10 時間未満」、「5 時間未満」の 10 時間未満の企業が合わせて 12 件にのぼり、1 日あたりの平均残業時間が 30 分以下、もしくは突発的な残業対応になっていると見られる。一方、「10～20 時間未満」、「20 時間以上」の 10 時間以上の企業はあわせて 11 件あり、これらの企業では残業が日常茶飯事となっていると見られる。

５）女性従業員比率



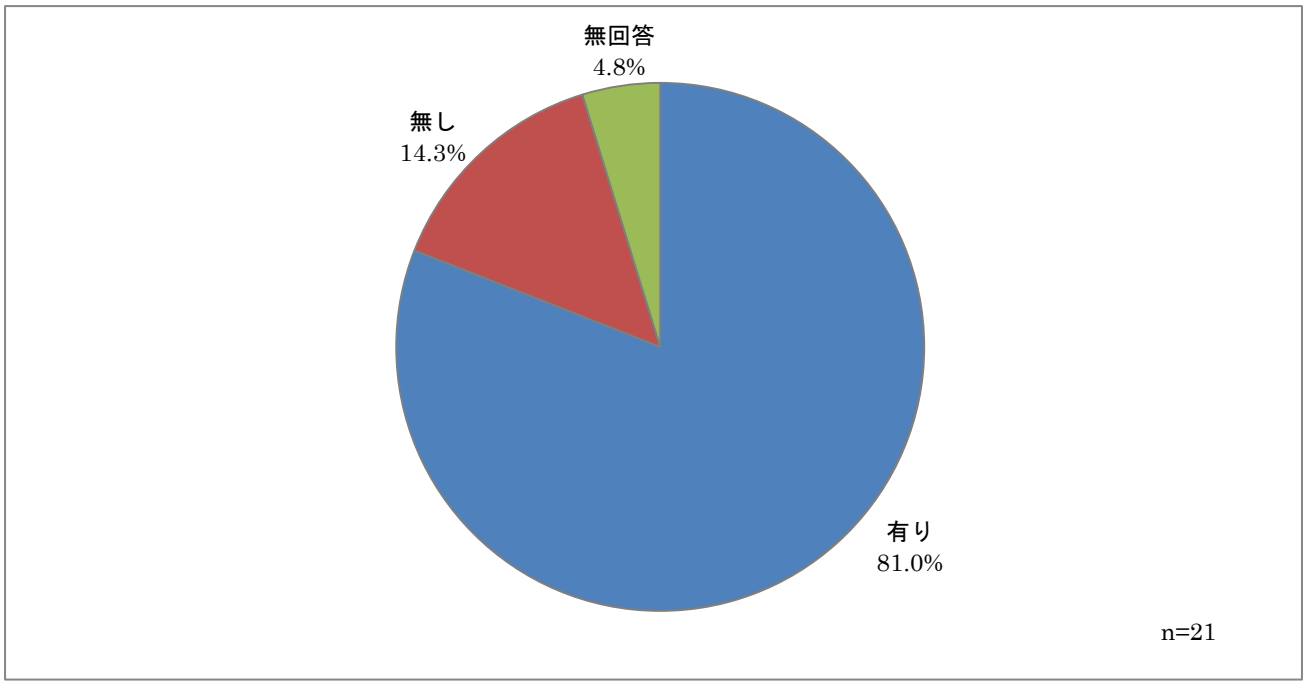
女性従業員比率は「70%以上」が 38.1%と最も多くなった。2 位の「50～70%未満」（33.3%）と合わせると、女性従業員が半数以上占める応援企業が 7 割にのぼる。また、「30%未満」という企業はなく、女性が多く働く企業は必然的に女性が働きやすい会社になっていることが伺える。

６）出産した女性従業員比率別にみた企業構成比



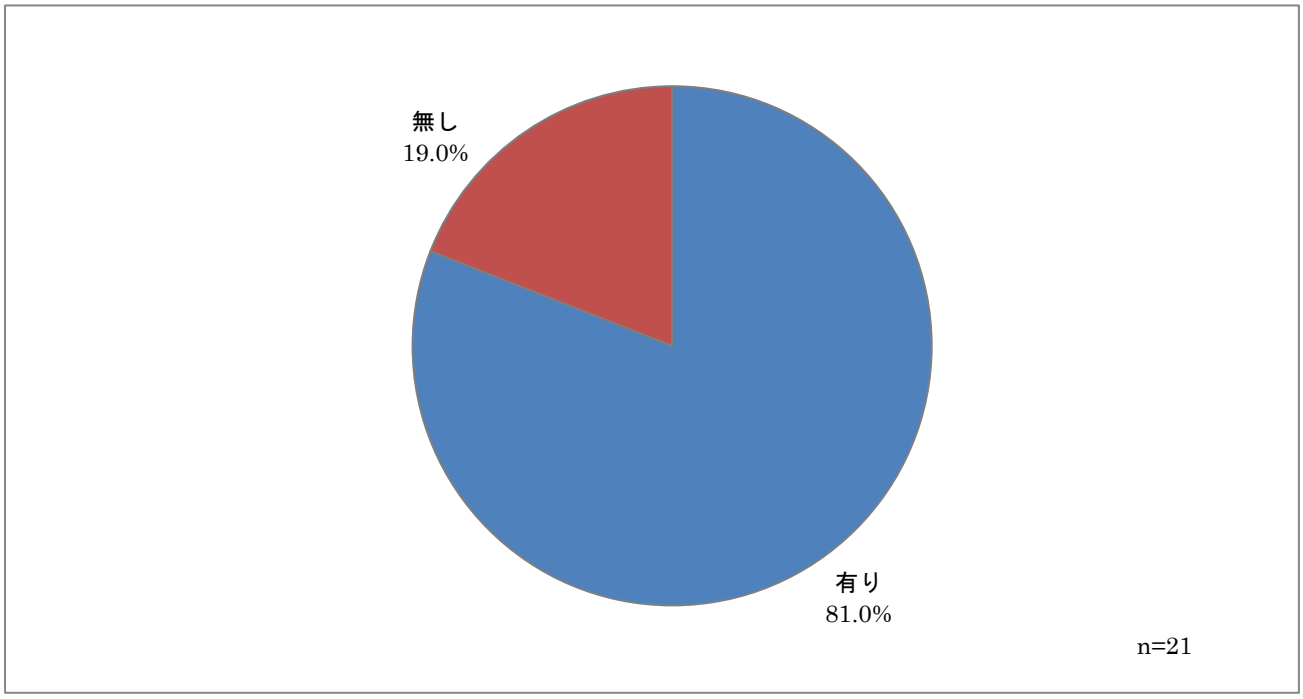
直近 3～4 年間に出産経験のある女性従業員比率は、「10%未満」の企業が 61.9%と最も多かった。出産後間もなく働く女性は応援企業でも少数派であることが分かる。

７）女性従業員の職種雇用転換実績の有無



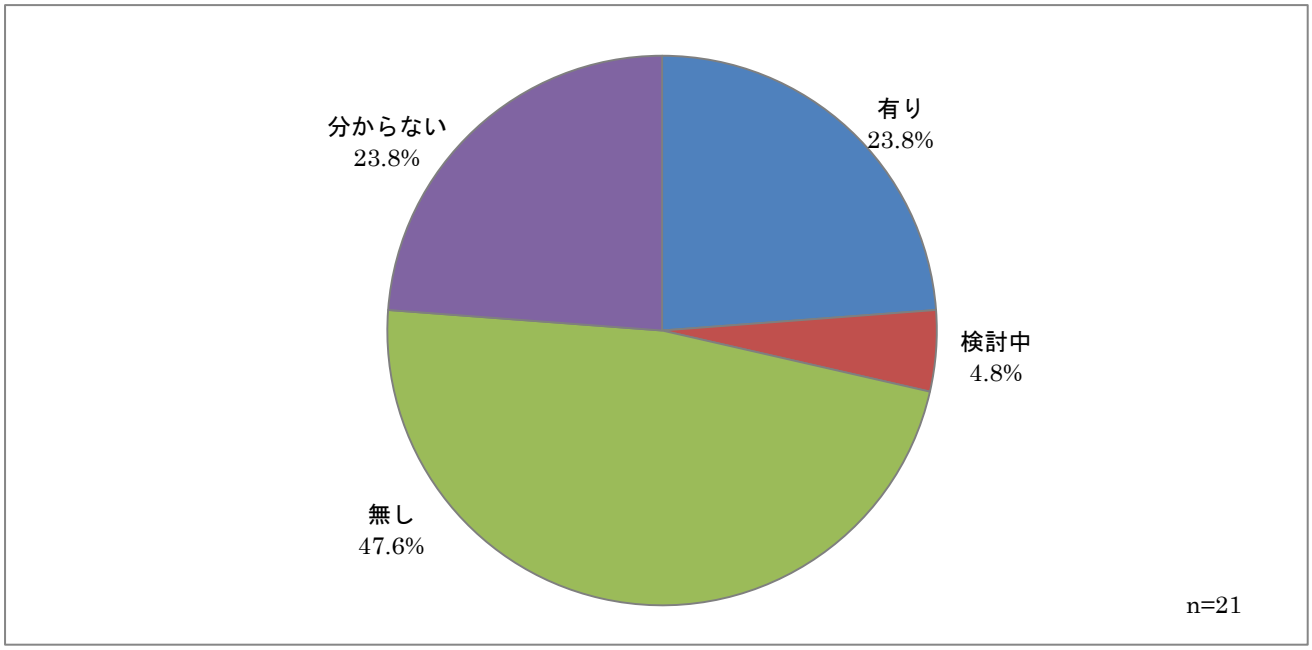
職種雇用転換について約 8 割の企業は実績が「有り」と回答した。応援企業の多くが女性のライフステージに合わせて雇用形態や働き方を見直しているものと見られる。

８）短時間勤務制度の有無



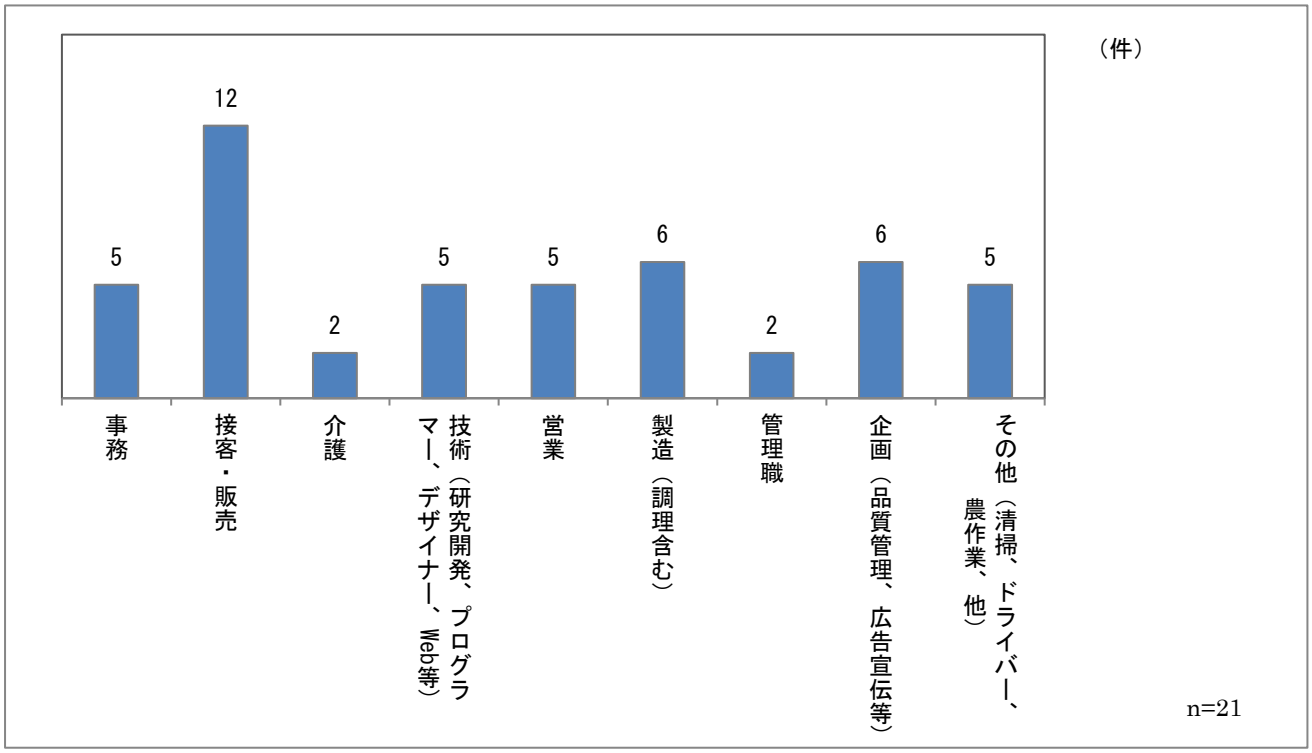
短時間勤務制度を導入している応援企業は 8 割にのぼった。また導入無しと回答した応援企業は、制度はないものの実際には個別で相談に応じており、同等の対応ができているという回答であった。

９）社内保育所の設置予定



社内保育所の設置予定が「有り」と回答した応援企業は 4 件あり、また「検討中」という応援企業も 1 件あった。若い女性従業員が働く応援企業ほど社内保育所への意欲も高かった。

１０）募集職種　※複数回答



応援企業が女性に求める職種はトップが接客（12 件）、つぎに製造と企画（ともに同じ 6 件）が多かった。事務や技術、営業（ともに同じ 5 件）への需要も高く、女性に期待する職種は多種多様であることが分かった。

配布アンケート

三重県地域活性化雇用創造プロジェクト

子育てや介護等にて退職した女性の再就職・就職支援

ママハタみえ

ママの「働く」を共に考え・応援する相談窓口

三重県内の女性の「働く」ニーズ調査アンケート　趣意説明書

■趣旨

ママハタみえ事務局では、子育てや介護等にて退職した女性の再就職や就職の支援をするために、「ママハタみえ～女性の就職相談窓口」を定期相談として毎月、四日市 3 回、津 2 回、伊勢 2 回開催し、県内 10 か所（予定）にて出張相談を実施します。また、「女性たちの本音を聞くためのトークイベント」（11 月開催予定）や女性の就労を応援する「ママハタみえ応援企業とのマッチングイベント」（来年 1 月、2 月開催予定）も四日市・津・伊勢にて開催を予定しています。

また、「働きたいという意思のある女性」と「女性の力を発揮してほしい」と願う企業のマッチングができていない現状を鑑み、さらなる充実した支援を行うために下記の冊子を作成することとなりました。

「ママハタみえ応援企業ガイド（仮称）」三重の輝く女性はばたく企業～多様な働き方を目指して～

2019 年 1 月中旬発行予定

そこで、本企業ガイドの作成にあたり、働きたいという意思のある女性の皆様に、本音や希望を聞き取るアンケート調査を実施させていただきます。なお、摘出するデータは下記のとおりです。

- 現在働いていない理由
- 企業が提供している環境と女性の希望にズレがあるかどうか？
- どんなスキルを持った女性が埋もれているか？

■アンケート調査の方法（アンケート収集〆切　2018 年 1 月末予定※マッチングイベント日程による）

定期相談窓口、出張相談窓口、イベント会場、その他協力いただける各地の行政様や団体様、企業様の会場にて、働きたい女性の皆様に向けて、個別またはグループ形式にて当社スタッフがサポートしながらご回答いただきます。

■アンケート結果の活用と情報公開

ご回答いただいた内容を、ママハタみえ事務局にて集計・分析後、その結果を「ママハタみえ応援企業ガイド（仮称）」の中で匿名にてご紹介します。また、公式サイト「https://mamahata-mie.net」にて公開する上、アンケートにご協力いただきました方々には、アンケート集計結果（2 月末発行予定）と共に、完成した本企業ガイド（製本版 2 部）を謹呈いたします。

本業務は公益財団法人三重県産業支援センターより株式会社 E プレゼンスが受託し、事業の充実のために企画・調査・実施するものです。また、厚生労働省の地域活性化雇用創造プロジェクト事業の補助を受けております。

事務局：株式会社 E プレゼンス　担当 川北、岡　TEL：059-336-4002　FAX:050-3488-2302
三重県四日市市久保田 2 丁目 10-13 杉善ビル 1 F
主　催：公益財団法人三重県産業支援センター　三重県
共　催：三重県男女共同参画センターフレンテみえ・四日市市
後　援：三重労働局・県内公共職業安定所・鈴鹿市・桑名市

ママハタみえ

ママの「働く」を共に考え・応援する相談窓口

三重県内女性の「働く」ニーズ調査用アンケート

女性の就職サポート支援事業「ママハタみえ」では、就労（就職）もしくは転職を希望する県内の女性ができる限り希望に沿った働き方や職場に出会い、新たな一歩を踏み出すきっかけになれば・・との思いで就労相談やイベントを開催しています。より良い事業にするため、三重県内の女性の皆様、就労に関する本音や希望を教えてください。

下記アンケートにご協力お願いします。

Ⅰ．あなたについて質問します。

① あなたの年代を教えてください。

1）20 代　2）30 代　3）40 代　4）50 代　5）60 代

② 居住地域を教えてください。

（　　）　例）　津市

③ 婚姻の有無と、お子さんの有無について教えてください。

1）独身・子なし　2）既婚・子なし　3）独身・子あり（　　歳）　4）既婚・子あり（　　歳）

④ 現在、何らかの就労(産休・育休中を含む)をしていますか？

1）現在、就労（産休・育休を含む）している　2）今は就労していない

⑤Ⅰ-④で 1）就労している。と回答した方に質問します。

現在の雇用形態を教えてください。

1）正社員　2）契約社員　3）派遣社員　4）パート・アルバイト　5）自営　6）請負・業務委託

7）在宅ワーク　8）その他（　　）

Ⅱ．就労状況について質問します。

① 現在、就労している方は転職の希望、また就労していない方は今後働く希望はありますか？

1）転職したい、または将来働きたい　2）転職したくない、または将来も働きたくない　3）分からない

② 現在、就労している方はその理由、また就労していない方は今後働くとしたらその理由は何ですか？**※複数回答可**

1）生活に必要な収入を得るため
2）生活にうるおいを与える収入を得るため
3）社会と関わりをもつため
4）自分の経験やスキルを活かしたいため
5）知り合いに頼まれた、自営業のため
6）その他（　　）

③ 就労していない方はその理由は何ですか？**※複数回答可**

1） 家庭との両立に不安があるから
2） 希望条件にあう仕事がないから
3） 子どもを預けることに抵抗があるから
4） 仕事をすることが好きではないから
5） 収入を得る必要がないから
6） その他（　　）

Ⅲ．希望する就労条件について質問します。

① 希望する勤務時間（1 日あたり）はどれくらいですか？

1）3 時間程度　2）5～6 時間程度　3）7 時間以上

② 希望する収入月額はどれくらいですか？

1）2～3 万円程度　2）4～8 万円程度　3）9～10 万円程度　4）10～20 万円程度　5）20 万円以上

③ 希望する通勤範囲はどれくらいですか？

1)通勤 30 分以内　2)通勤 1 時間以内　3)通勤できる範囲ならどこでも　4)在宅　5)その他(　　)

④ 希望する職種は何ですか？**※複数回答可**

1）一般事務　2）経理　3）接客　4）営業　5）技術職　6）看護・介護　7）専門職（IT・デザイン等）

8）教育・講師・インストラクター　9）その他（　　）

⑤ 希望条件が全て満たされなくても就労するとしたらどんな理由が考えられますか？**※複数回答可**

1） やってみたい職種だから
2） やりがいが感じられるから
3） 自分のスキル・経験が活かせるから
4） 初心者でも出来るから
5） マニュアルや研修制度が整備されていて安心だから
6） 家庭の事情に理解がある（託児、時短勤務、休暇の取りやすさ等）
7） 職場の雰囲気・人間関係が良好
8） その他（　　）

Ⅳ．Ⅱ-①で 1）転職したい、将来働きたい。と回答した方に質問します。※複数回答可

① あなたのスキルといえる職種(一番に思いつくもの、最もキャリアが長い、人に褒められるなど)は何ですか？
1）一般事務　2）経理　3）接客　4）営業　5）技術職　6）看護・介護　7）専門職（IT・デザイン等）
8）教育・講師・インストラクター　9）その他（　　）

② あなたのキャリアを簡単に教えてください。

③ 仕事をするうえで、不満点や障害となっていることを教えてください。

④ どんな会社や働き方があったら転職、または働いてみたいと思いますか？

Ⅴ．ママハタみえへの要望について質問します。

① 女性向けのお仕事セミナーがあったら参加したいですか？
1）参加したい　2）託児があれば参加したい　3）参加したくない

② 女性向けのワンコインでできるキャリアップ講座があったら参加したいですか？
1）参加したい　2）託児があれば参加したい　3）参加したくない

③ 今後、ママハタみえで企画してほしいセミナーや講座、ご相談はありますか？
1）ビジネスマナー　2）パソコン・メール操作　3）履歴書・職務経歴書の書き方
4）ワークライフバランスが叶う働き方　5）キャリア相談　6）人材マッチング
7）在宅ワーク研修　8）その他（　　）

今後、ママハタみえからお仕事に役立つ情報、求人情報などを発信します。
ご希望の方は下記ご記入をお願いします。

氏　　名		電　話　番　号	
ご 住 所		メールアドレス	

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた内容については、事業活動（事業推進・改善・評価など）に関する目的以外には使用いたしません。

ママハタみえ事務局